

南越駅周辺まちづくり計画

地域特性を活かした未来都市の創造

—フォレストシティ & 越前市版スマートシティの実現に向けて—



令和2年3月 福井県越前市

目次

1 越前市と南越駅（仮称）について	1
2 まちづくりの軸となる要素と目指すべき方向性について	2
3 計画対象エリアと地域住民・学生の思い.....	3
4 越前市の課題について （人口減少の抑制）	4
5 越前市の課題について （持続可能な地域経済）	5
6 まちづくりを実現するための方策.....	6
7 開発ルールとプログラムによる適切な誘導	7
8 公共と民間の役割分担と公民連携・公民協働.....	8
9 越前らしさを実現する土地利用ゾーニング	9
10 計画の実現に向けて （開発スケジュール）	10
11 計画の実現に向けて （実行体制）	11

参考資料

- A 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 委員名簿
- B 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 開催履歴
- C 現況分析
- D 南越駅周辺まちづくり協議会との意見交換
- E 仁愛大学アンケート結果
- F 市場調査（企業アンケート）の結果

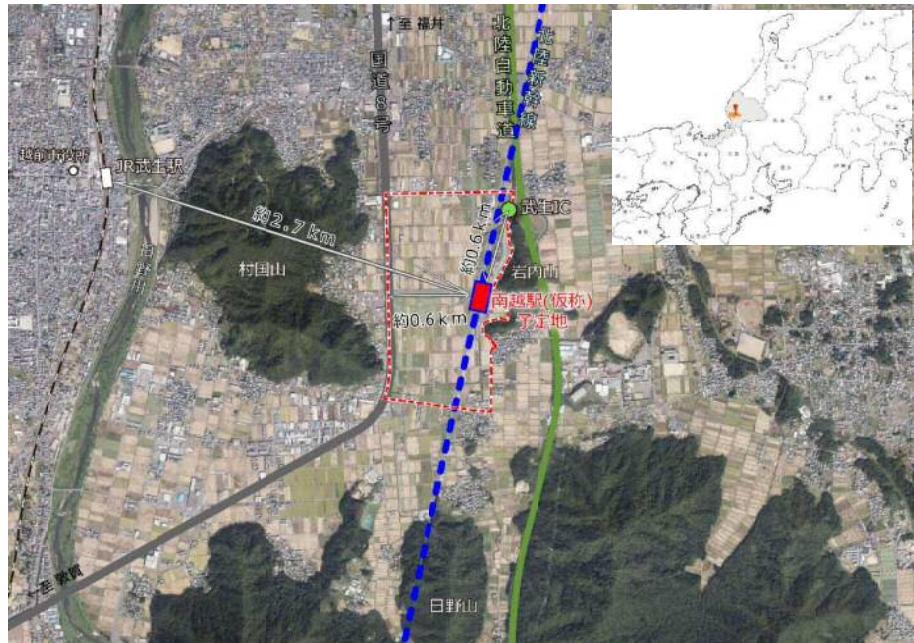
令和5年春、私たちが待ち望んでいた北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸します。そして、私たちのまちに新幹線の駅ができます。

この新幹線の駅が立地する計画対象エリアは、長い歴史の中で水田として耕作され、私たちに多くの恩恵をもたらしてきました。この土地で私たちは、次世代の越前市や丹南地域の特性を活かした未来都市を創造し、新たな恩恵をもたらすまちにしていきたいと思います。

この計画書をお読みになった皆さんには、この新しいまちづくりに参画し、共に未来を創っていただければ幸いです。

1 越前市と南越駅（仮称）について

《越前市と南越駅（仮称）の位置》



空中写真：越前市

地図出典：国土地理院

福井県越前市では、北陸新幹線の新駅である南越駅（仮称）の開業が令和5年の春に予定されています。越前市では公共と民間が分担・連携・協働するまちづくりを目指しており、そのまちづくりの方向性を示すものが、この「南越駅周辺まちづくり計画」です。

福井県内唯一の新駅である南越駅（仮称）建設予定地は、現在のJR 武生駅から直線で約 2.7km 離れたところにあります。周囲には約 100ha の広大な農地が広がっているため、新たなまちづくりの舞台としての可能性を秘めています。また、東に岩内山、西に村国山、南に越前富士とも呼ばれる日野山が広がっており、豊かな自然を臨むことができます。

さらに、新幹線新駅に加え、北陸自動車道武生インターチェンジ、国道8号が近接しているなど、類まれなる交通結節点となる場所でもあります。

越前市は、福井県のほぼ中央に位置し、平成 17 年に武生市と今立町が合併して誕生した人口 8 万 2 千人程のまちです。古くから越前和紙、越前打刃物、越前筆筒の伝統産業のほか、現在では電子部品や自動車関連といった先端産業が進出・操業するなど、福井県随一のものづくりのまちです。

また、産業の集積に伴い外国人市民が多数居住し、今では人口の約 5 %を占めるなど多文化共生も進んでいます。

歴史的には、1,300 年前に越前国府が置かれたまちであり、1,000 年余り前には源氏物語の作者である紫式部が生涯に渡り 1 度だけ京都を離れて暮らしたまちとしても知られています。現在では、豊かな自然の象徴であるコウノトリも暮らしています。そのため、歴史・文化・自然のまちと言うことができます。

※令和元年 12 月 1 日現在 82,112 人

※平成 30 年工業統計調査 製造品出荷額等 福井県構成比 29.1%（一位） 61,390,340 万円

2 まちづくりの軸となる要素と目指すべき方向性について



上空写真提供：福井県丹南土木事務所

南越駅周辺ではこれらの地域のポテンシャルを活かすとともに、これから新しくつくるまちであるため、未来的な挑戦も必要です。

そこで、まちづくりのテーマを次のように定めました。

「まちづくりのテーマ」

地域特性を活かした未来都市の創造

ここでいう地域特性とは、伝統と先端の共生、自然と都市の共生、多文化の共生のことであり、目指すべき方向性の一つは、人の手と自然を感じ、その背景にある歴史・文化を感じるまちです。具体的には、緑と建物がバランスよく配置され、緑の景観に溶け込んでいるまちです。整備された林のようなイメージであることから、方向性の一つを「フォレストシティ」としました。

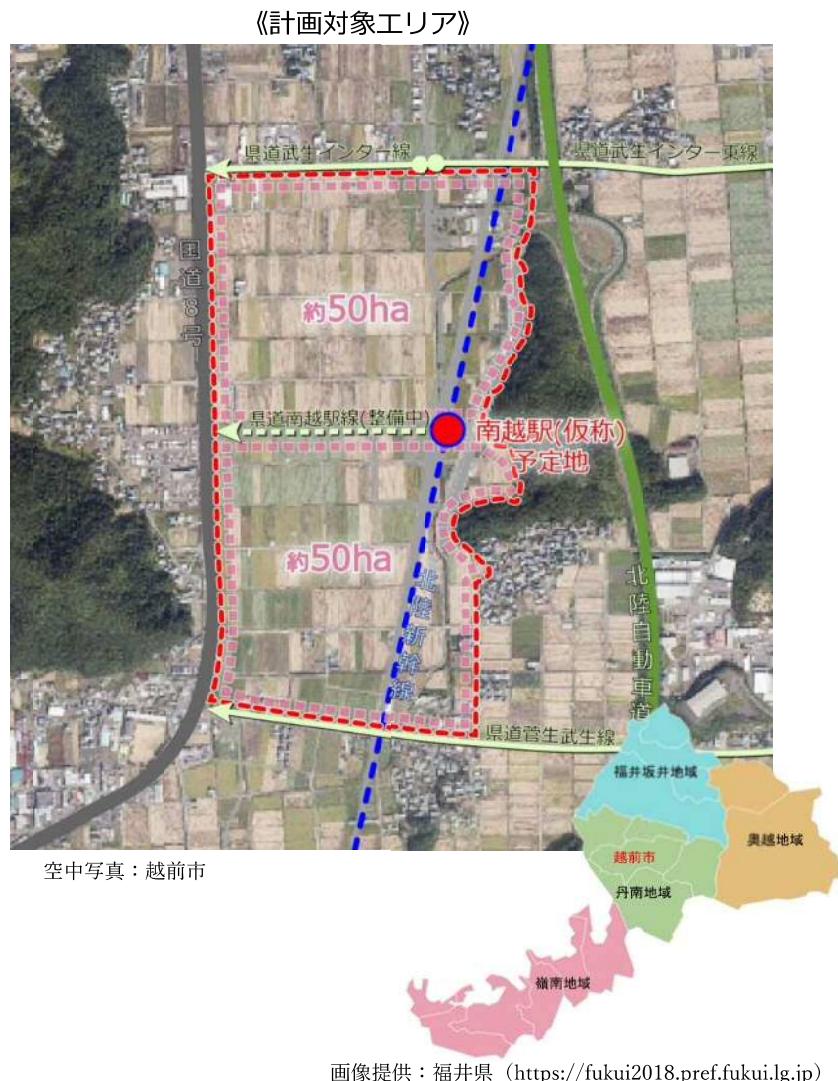
また、未来都市の創造とは、地方都市だからこそ可能となる、既成概念にとらわれない自由な発想のもと、越前市版未来都市を目指すことです。それは、立地するあらゆる産業や施設、場面あるいは事業展開過程において、未来的なチャレンジを進めるまちのことです。具体的にはすべての産業のスマート化を目指し、越前市の拠点となるエリアの創造を目標とすることから、もう一つの方向性を「越前市版スマートシティ」としました。

「まち全体を包み込むメッセージ」

フォレストシティ & 越前市版スマートシティ

この二つの言葉を理念とし、まちづくりを進めています。

3 計画対象エリアと地域住民・学生の思い



計画の対象となる区域は、南越駅（仮称）から南北は県道まで、西は国道8号、東は岩内山までの100haとしました。この際、周囲の豊かな自然との連携や、旧武生市の中心市街地・旧今立町の地域拠点との連携、越前市内の各地や各伝統産業の産地との連携も視野に入れなければいけません。さらには、丹南地域の玄関口としての役割も必要となります。

当該地域は、前述したとおり広大な農地が広がっていますが、一時期における大規模開発は考えにくく、段階的な開発が進むものと想定されます。

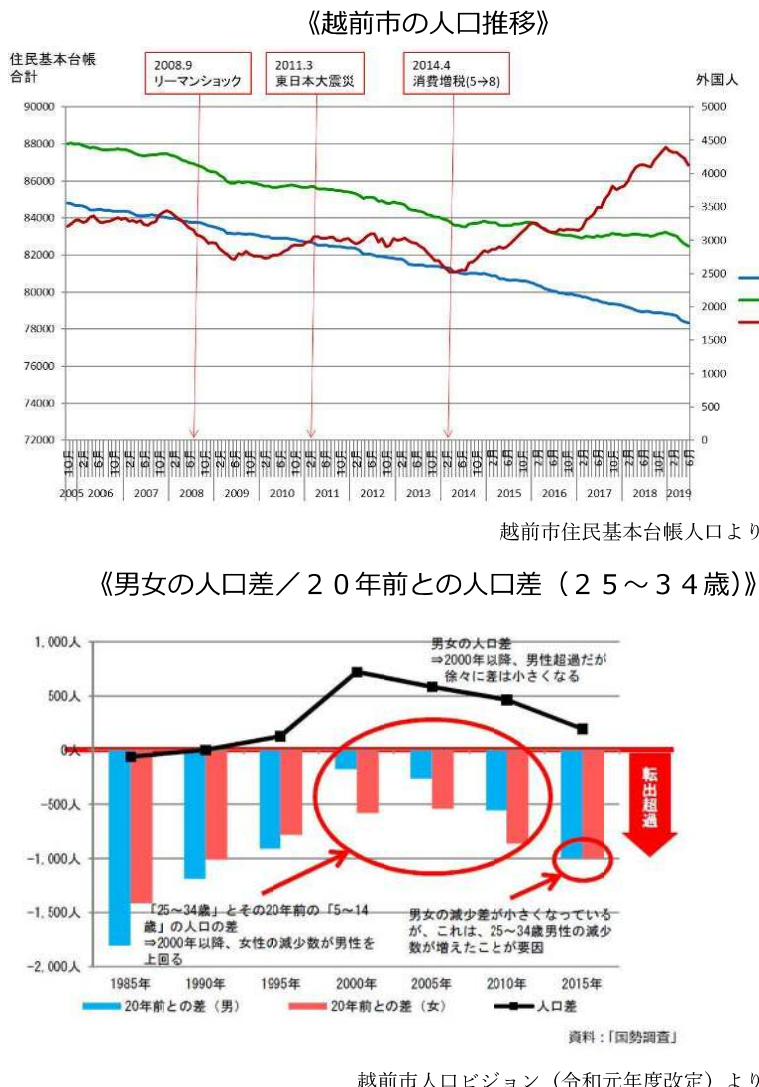
そのため、地域住民からも「残る水田の営農に支障をきたさないよう、計画的に段階的な開発を進める」よう要望されています。具体的には、「虫食い的な開発はしない」ように進めてもらいたいとの意向です。また、「適切なゾーニング設定と一定のルールを設ける」必要性についても、地域住民から提起されています。

南越駅周辺地域の町内の方々の想いを聴くと、様々な意見がでています。伝統産業など現在ある資源を活かす提案や、商業施設など新たな機能を望む声が聴かれました。また、思い切った大きな開発を求める声がある一方で、農業と共に存しながら身の丈に合った開発を段階的に進めてはどうかといった声もありました。

計画対象区域の近くには仁愛大学があり、この計画の策定委員にも仁愛大学生が参画しています。策定委員が学生にアンケートを行うと、ショッピングセンターのような多様な店舗が集まる施設を求める学生が多くいました。一方で、越前市の将来像については、豊かな自然と共に存する都市、働きやすい都市というイメージを求めていました。

※住民意見や仁愛大学アンケートの詳細は参考資料を参照

4 越前市の課題について（人口減少の抑制）



我が国全体が人口減少時代に突入した状況下にあり、越前市も人口が減少しています。その原因の一つは若者の U ターン率の低下にあると考えられ、若い女性の U ターン率は低く、比較的高かった若い男性の U ターン率も近年低下しています。その理由の一つには雇用の場や娯楽の場の不足もあると考えられ、これらの創出が必要となります。

一方で、現在の越前市的人口の約 5%は外国人市民であり、外国人市民の転入により平成 29・30 年の 2 年間では人口が増加しました。そのため、外国人市民のさらなる定住に繋げるためにも、多文化共生を進める必要があります。

越前市は、県内トップの製造品出荷額等を誇る「モノづくり都市」として、グローバルな先端技術企業やオンライン技術を有する企業が多く立地し、第 2 次産業に強みを持っていますが、多様な雇用の創出のためには第 2 次産業を伸ばすと共に第 3 次産業の誘致が必要となります。また、高齢化等により農業従事人口が減少している中、第 1 次産業のスマート化を目指す必要があります。

そこで、これら様々な産業の誘致について優位性をもって進めていくためにも、全ての産業のスマート化を目指す越前市版未来都市である「スマートシティ」を目指す必要があります。また、南越駅周辺は段階的に開発が進むことが想定されるため、まちの統一感を生み出すためにもフォレストシティ

という理念が必要となるのです。

5 越前市の課題について (持続可能な地域経済)



福井県内の購買力が県外に流出していると言われており、地域経済に還元がなされているとは言えない状況です。持続可能で自立した地域経済のためには、幅広い生活サービス機能の強化が必要です。地域住民や若者からの要望が大きい、商業施設の実現可能な規模での誘導も求められます。

また、新たな産業の創出のためには先端産業の更なる誘致が必要です。そのためには、新しい技術に取り組むベンチャー企業への操業支援やビジネスマッチングの場となる官民のオープンイノベーションの推進、進出を希望する企業が立地するための環境基盤整備が求められます。

持続可能な地域経済のためにも、南越駅周辺への商業・サービス産業、飲食・宿泊、健康・スポーツ、観光・文化・交流、交通、物流、産業・研究開発、AI・IoTといった都市機能の誘導が必要になります。

さらに、地域の環境資産を活かすためにも現地の農業環境と共に存が可能で、フォレストシティ & 越前市版スマートシティの理念と合致する企業に進出してもらうことが重要です。

6 まちづくりを実現するための方策

《まちづくりを実現するための前提となる条件》

■前提となる条件

① 立地条件や越前らしさを活用した土地利用促進

- 北陸道武生 I C、新幹線駅、国道 8 号近接の交通利便性の活用
- 歴史、文化、農地、自然、伝統産業、先端産業といった越前らしさの活用

■まちづくりの時間軸

② 駅開業にむけた事業促進（短期）

- 2023 年南越駅開業時における基本的機能の誘導、確保

③ 中・長期にわたる開発・立地への対応

- 新たなる産業拠点としての位置付け
- 中・長期にわたる開発を継続的かつ計画的に誘導
- 社会状況の変化や新たな土地利用ニーズに柔軟に対応
- 大阪開業に向けた土地の保全・活用

■開発と保全の適切な誘導

④ 虫食い開発の防止

- 適切な開発単位と、開発誘導プロセスによる都市計画的なコントロール

計画策定区域は 100 ha と広大であり、新幹線新駅による効果が実感できない現時点では一時期に大規模開発が進むとは考えにくく、段階的に開発が進んでいくものと考えられます。また、地域住民からの要望である「残る水田の営農に支障をきたさない計画的で段階的な開発」を実現するためには、一定のルールが必要です。

さらに、近年の急激に変わりつつある社会経済情勢に対し、柔軟かつ的確に対応していく必要があります。従来型のまちづくりでは将来像を踏まえた土地利用計画を策定し、施設等の誘致に向けて先行的な基盤整備を行うため、社会経済情勢への柔軟な対応が困難でした。

そこで、需要に合わせた継続的かつ柔軟なまちづくりを実現するために、次の 3 つの柱を方策として設定しました。

《南越駅周辺の新たなまちづくり》

需要に合わせた継続的かつ柔軟なまちづくりの実現

長期的に質の高い
まちづくりを進める

公共と民間がそれぞれ
主体的・創造的に関わる

広大地でのメリハリの
あるまちづくりを目指す

＜実現のための 3 つの柱＞

① 開発ルールと
プログラムに
よる適切な誘導

② 公共と民間の役割
分担と公民連携・
公民協働

③ 越前らしさを実
現する土地利用
ゾーニング

7 開発ルールとプログラムによる適切な誘導

中長期にわたるまちづくりを実現するためには、開発のルールと実際にまちづくりを進めるための開発プログラムが必要です。

A 開発ルールによる開発の適切な誘導

1) 土地開発ルール (開発規模や整備水準などまちの性能を担保)

○開発単位や都市施設などに関する規模や整備水準

例えは

- ・開発単位（規模（一定以上の開発面積）、条件（主要道路への接道）等）
- ・インフラ整備基準（開発道路や公園、調整池など）
- ・既存の農地保全方策

2) 公共空間ルール (越前らしさや景観を創る)

○公共空間のデザインコンセプト、景観ガイドライン

例えは

- ・オープンスペース、緑化軸、ビューポイント等
- ・景観基準（建物高さ、色彩、緑化 等）
- ・歩行者の視線、宅地・建物の開放性への配慮 など

3) エリアマネジメントルール (まちを総合的に運営)

○まちの成熟度に応じたエリアマネジメントの実施

- ・段階的、継続的な開発誘導、開発管理
- ・公共施設等の維持管理、環境維持、地域熱供給
- ・まちのにぎわい創出、周辺地域（旧市街地等）との連携
- ・まちづくりの方向性に合致した整備の展開

また、開発プログラムは虫食い的な開発を避けるためのルールに基づき、需要に合わせ公共と民間による柔軟な取組みを行います。

なお、計画策定区域の多くは民有地であるため、開発ルールとプログラムについては、地権者と近隣住民で構成される「南越駅周辺まちづくり協議会」と話し合いながら策定していきます。

B ルールに基づく開発プログラム

1) 土地利用の発意

- ・民間提案により、主要な道路などを含む一定の範囲において、地権者合意の上、土地利用、施設用途等を確定
- ・開発に向けて具体的な関係機関との協議、エリアマネジメント組織との調整を開始

2) 開発計画の確定

- ・公共による主要インフラの位置、規模等の確定及び事業化手続きの開始
- ・民間による土地利用及び施設計画の策定、必要な地区インフラの整備水準の確定
- ・農地転用、都市計画などの手続きの開始

3) 主要インフラの整備、土地の造成

- ・公共による主要インフラの整備
- ・民間による地区インフラ整備や土地の造成、施設の整備
- ・造成地、施設の供用開始



8 公共と民間の役割分担と公民連携・公民協働

賑わいのある持続的なまちづくりは、実際にまちに関わる市民、地権者、開発事業者や立地企業による積極的な参画が必要になります。

また、まちの開発や整備にあたって公共が大きな投資を行っていくことは、現在の厳しい財政状況の中では困難な状況にあります。

そこで、南越駅周辺において持続可能なまちづくりを進めるために、公的な都市基盤整備やサービス提供に責任をもつ公共と、まちづくりの主体となる地権者を含む地域住民などの市民と、開発事業者や立地企業などの民間が、それぞれの役割を踏まえ創造的にまちづくりに関わり、相互に分担・連携・協働した取り組みを行っていく必要があります。

《公共と民間の役割分担・連携・協働の考え方》

公 共

地区全体の開発を誘導する
主要な道路等の整備

都市インフラ整備 の進め方

民 間

開発エリア内の土地利用に必要な
道路等の整備

民間開発事業者の意見を踏まえた開発ルールの検討
開発に関する許認可等の手続きのワンストップ化等
開発環境の整備、支援

開発ルール プログラム

公共が整備する都市インフラに合わせ
土地利用に必要なインフラの計画、整備

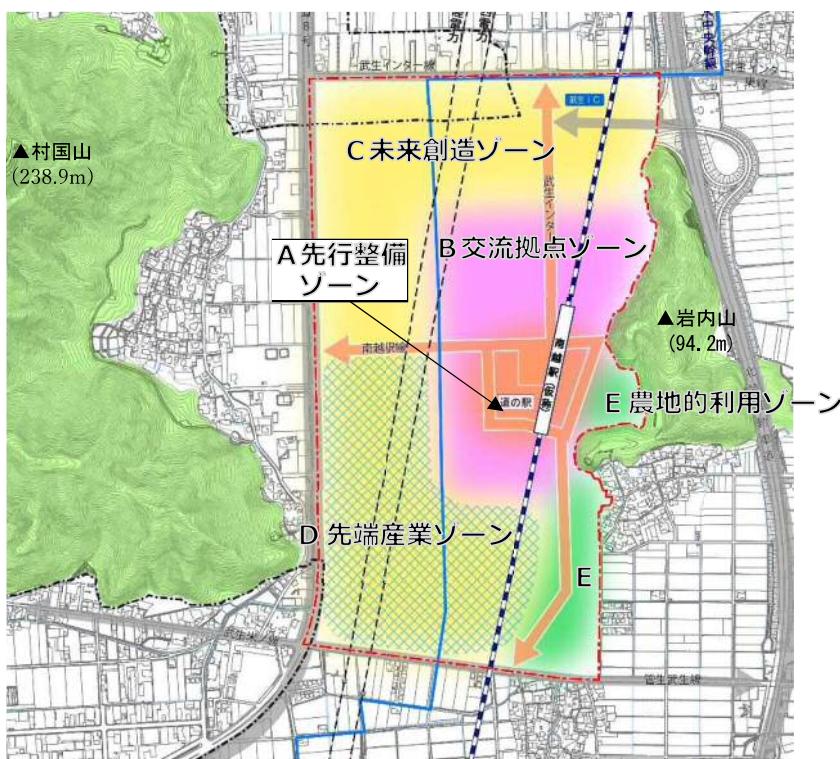
エリアマネジメント組織の準備
運営への支援

エリアマネジメント

まちの開発、維持管理、にぎわい創出を担う
エリアマネジメント組織の形成と運営

9 越前らしさを実現する土地利用ゾーニング

需要に応じた段階的な開発を進めるためには、そのための土地利用ゾーニングが必要となります。そこで、対象区域を下図のように5つのゾーンに分けるとともに、その位置づけを次のようにしました。なお、A先行整備ゾーンはB交流拠点ゾーンに含まれ、Bゾーンの中でも先行して整備するという位置付けです。また、D先端産業ゾーンはC未来創造ゾーンに含まれ、Cゾーンの中でも先端産業の集積を図っていくという位置付けです。本ゾーニングを基に、将来の需要動向に応じてゾーンの拡大・縮小を図ります。



① A先行整備ゾーン

- ・駅開業時に「新幹線駅としての基本機能」の導入を積極的に図るゾーン
- ・道の駅、ホテル、コンビニ、レンタカー、P & R駐車場などを想定

② B交流拠点ゾーン

- ・市民と来街者が交流するゾーン
- ・市民生活を支える幅広い生活サービス施設や、丹南地域の伝統産業や観光拠点と連携した施設などの集積によるシナジー効果を期待

③ C未来創造ゾーン

- ・優良な農地に配慮しつつ、段階的に整備を目指す「にぎわい」のゾーン
- ・雇用の創出や集客を図るための産業（商業・物流等）や集客施設（スポーツ施設等）などをイメージ

④ D先端産業ゾーン

- ・優良な農地に配慮しつつ、越前市の次世代を担う先端産業が立地するゾーンを想定
- ・先端技術を活用したAIやIoTの拠点

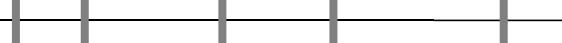
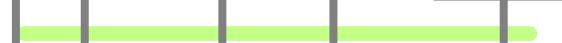
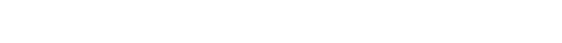
⑤ E農地的利用ゾーン

- ・新たな農業環境の創出により、長期営農希望者が農業を継続しうるゾーン
- ・スマート農業や6次産業施設の導入などをイメージ

10 計画の実現に向けて（開発スケジュール）

《開発時期イメージ》

＜需要に応じた柔軟な開発を行うためあくまでイメージ＞

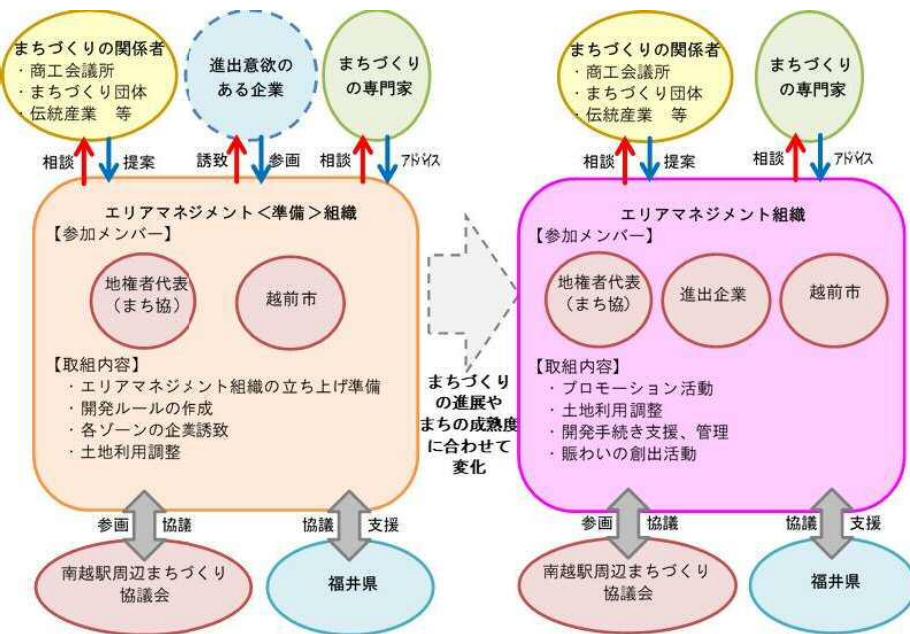
ゾーン	現在	南越駅開業	大阪万博	10年後	大阪延伸
		3年後	5年後	20~30年後	
A先行整備ゾーン					
B交流拠点ゾーン					
C未来創造ゾーン					
D先端産業ゾーン					
E農地的利用ゾーン					

A 先行整備ゾーンでは、公共が整備する駅前広場等は、開業時に完成している必要があります。宿泊施設等の民間活力を誘導する基本的機能についても開業時を目指していますが、民間企業の準備期間も考慮し推進を図ります。

その他のゾーンについても、5年後10年後を目指した取り組みが必要であり、直ちに取り組みを始めます。しかしながら対象区域が100haと広大なため、一時期における大規模開発は考えにくく、段階的な開発が進むものと想定されます。そこで、社会経済情勢等を踏まえ、需要に応じた開発を計画的に続けていきます。

1.1 計画の実現に向けて（実行体制）

《実行体制イメージ》



まちの賑わいを創出するためには、そのエリアを運営するためのマネジメントが必要です。現在、建築物の建造を規制している特定用途制限地域は令和3年3月に効力を失うため、新たなルールを令和2年度内に策定する必要があります。当該エリアは民有地であるため、地権者と近隣住民で構成される「南越駅周辺まちづくり協議会」と話し合いながら、必要に応じて専門家の意見を聴き、新たなルールを策定していきます。

まちの賑わいのためには民間企業の進出が必要であり、進出を希望する企業にはエリアマネジメントに参画してもらいます。併せて、地権者との土地利用のマッチングを行います。

将来的には進出企業を中心としたエリアマネジメント組織が立ち上がり、賑わいを創出していくことが望ましいのですが、当面は市とまちづくり協議会の代表で協議する形とします。

また、民間企業に進出を促すため、民間企業への引き続きのアプローチが必要です。市場調査の結果からもまだまだ南越駅（仮称）の知名度は低く、周辺の状況も認知されていません。市民の期待に応えるためにも、民間企業にまずこの計画を知ってもらわなければなりません。

※ 市場調査の結果については参考資料を参照

この計画は、南越駅周辺のまちづくりの方向性と土地利用の方針を示すものです。計画策定後の切れ目ない行動で計画の実現可能性を高め、まちづくりの実現に繋げていきます。

南越駅周辺まちづくり計画

参考資料

参考資料A 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 委員名簿

区分	名前	役職
1 学識経験者	南保 勝	福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授
2 学識経験者	下川 勇	福井工業大学 工学部建築土木工学科 教授
3 有識者	西藤 浩一	武生商工会議所 専務理事
4 有識者	石原 康宏	株式会社 JTB 福井支店 業務課 仕入企画担当課長
5 有識者	岡本 晴久	株式会社イマジネーションプロみなみかぜ 代表取締役社長
6 有識者	山田 宗司	JR西日本SC開発株式会社 顧問
7 地域代表	美濃 美雄	松ヶ鼻土地改良区 理事長
8 地域代表	大塚 孝一	北日野地区自治振興会 副会長
9 まちづくり協議会	平井 博	大屋町
10 まちづくり協議会	河端 一幸	庄田町
11 まちづくり協議会	長谷川 幸	葛岡町
12 市内若手経営者	三田村 哲郎	武生青年会議所 理事
13 市内若者	酒井 彩華	仁愛大学生
14 関係行政機関	龍田 光幸	福井県 地域戦略部副部長
15 関係行政機関	小川 俊昭	福井県 丹南土木事務所長（平成31年1月30日～令和元年5月31日）
16 関係行政機関	勝木 勘充	福井県 丹南土木事務所長（令和元年6月1日～）

参考資料B 南越駅周辺まちづくり計画策定委員会 開催履歴

第1回 平成31年1月30日(水) 北日野公民館 講堂

(委員委嘱・委員長選出)

北陸新幹線の整備状況について

南越駅（仮称）周辺の現状について

第2回 令和元年5月29日(水) 越前市福祉健康センター多目的ホール

まちづくり計画の方向性と可能性調査の実施について

第3回 令和元年8月30日(金) 越前市役所 大会議室

道の駅について

仁愛大学 アンケート結果について

南越駅周辺まちづくり計画について

全体構成

現況の把握・まちづくりの方向性

市場調査

今後の進め方

第4回 令和元年11月18日(月) 市民プラザたけふ 多目的室1

市場調査の結果について

まちづくりを実現するための方策について

まちづくりの軸となる要素と目指すべき方向性について

第5回 令和元年12月23日(月) 市民プラザたけふ 多目的室1

第4回資料の修正について

計画策定後の実行体制について

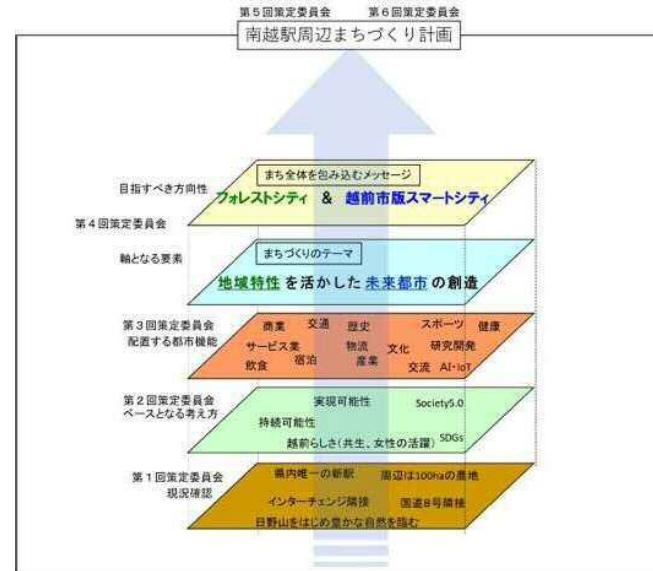
まちづくり計画の構成について

パブリックコメントについて

第6回 令和2年2月7日(木) 市民プラザたけふ 多目的室1

パブリックコメントの結果について

南越駅周辺まちづくり計画の策定について

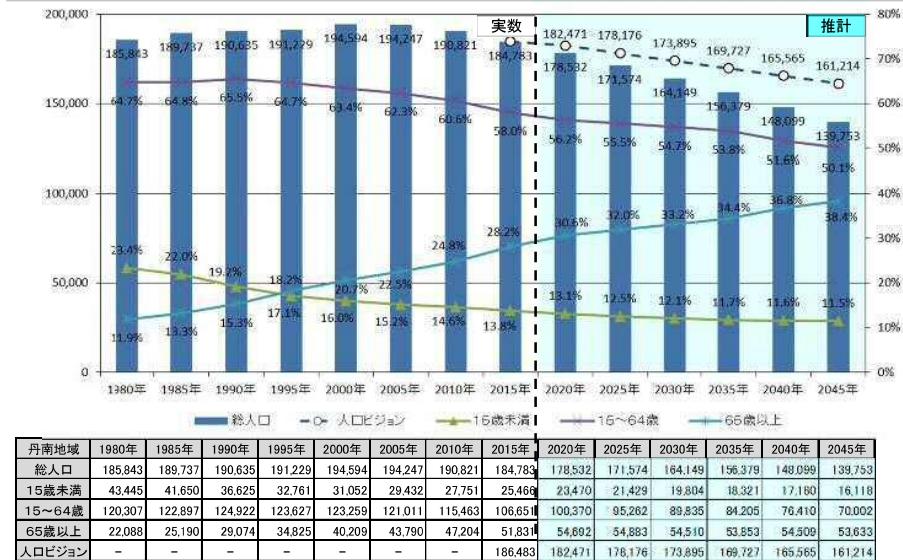


参考資料C 現況分析（1）人口動向について

○人口減少、長寿化

- ・丹南地域（越前市、鯖江市、池田町、南越前町、越前町）の総人口は2015年で約184千人。
- ・今後、人口減少が進み、丹南地域の2045年総人口は約139千人（2015年比76%）まで減少すると推計されている。（国立社会保障・人口問題研究所）
- ・長寿化時代を迎え、高齢者率は今後も伸びると推計されている。
- ・丹南地域の各市町の人口ビジョンでの分析では、各市町の人口対策により丹南地域の2045年総人口は、約161千人（2015年比86%）までの減少としている。

■丹南地域の人口推移

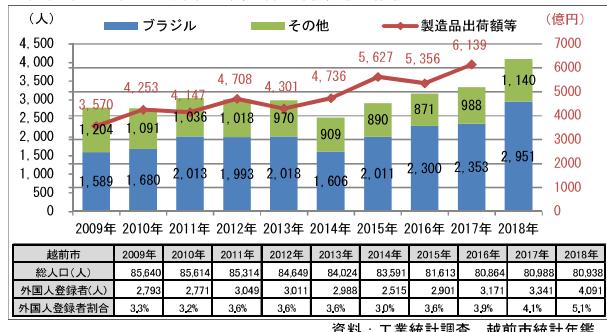


資料：総人口・年齢別人口：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）
人口ビジョン：越前市、鯖江市、池田町、南越前町、越前町の各人口ビジョンでの推計値の合計

○多文化共生

- ・越前市の外国人登録者は、2014年以降伸びており、2018年には4091人で、越前市総人口80,938人の5.1%を占める。
- ・越前市の外国人登録者の内、ブラジル人が7割を占める。
- ・外国人登録者数の推移は製造品出荷額等の推移と同じような動きを示しており、景気の動向に影響を受けている可能性があるが、永住・定住の傾向が近年高まっている。

■越前市の外国人登録者と製造品出荷額等の推移



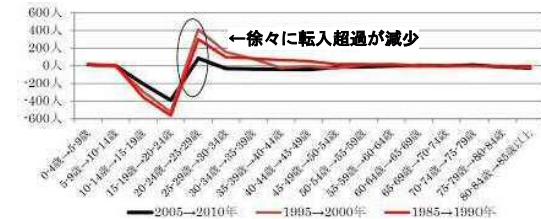
○女性のUターン率が低い

- ・男性の場合、10~24歳で転出超過、25~34歳で転入超過が目立つが、近年転入超過数が減少している。

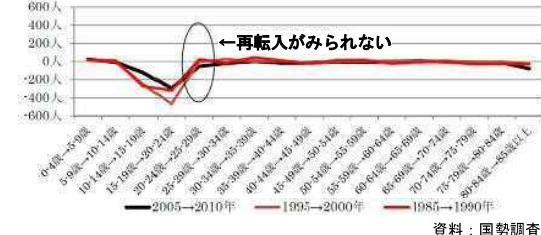
- ・女性の場合、10~24歳の転出超過は男性と同じだが、25~34歳では男性と異なり転入超過がない。

- ・市外に転出した若年層のUターン率が下がっていることが想定され、女性については以前からその傾向が顕著であるが、近年男性でもその傾向が強くなってきていている。

■越前市 年代別人口動態＜男＞



■越前市 年代別人口動態＜女＞



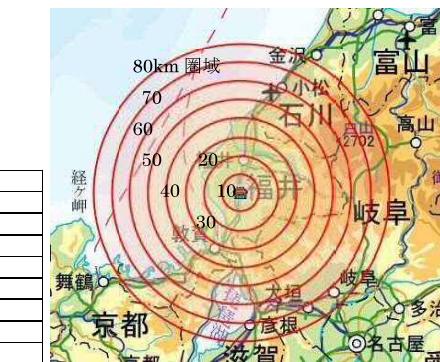
資料：国勢調査

○南越駅（仮称）50km圏域に100万人の人口。

- ・20km圏域人口は約30万人。
- ・50km圏域人口は100万人弱。
- ・自動車で1.5時間圏域には約210万人。

■南越駅からの圏域と推計人口

圏域	人口	主な都市
10km圏	117,857人	越前、鯖江、南越前
20km圏	309,057人	福井、池田、越前
30km圏	560,460人	大野、永平寺、坂井
40km圏	770,266人	敦賀、勝山、あわら
50km圏	980,601人	加賀
60km圏	1,230,766人	長浜、小松
70km圏	1,791,448人	小浜、木原、山県
80km圏	2,932,431人	米原、彦根、白山、大垣、岐阜



地図で見る統計（JSTAT MAP）で作成 背景地図：国土地理院地図



県	市	所要時間	人口
滋賀県	長浜市	1時間 9分	11万9千人
	米原市	1時間 18分	3万8千人
	彦根市	1時間 22分	11万3千人
	高島市	1時間 22分	4万9千人
岐阜県	大垣市	1時間 30分	16万1千人
	加賀市	49分	6万7千人
	小松市	1時間 3分	10万8千人
	白山市	1時間 17分	11万3千人
	能美市	1時間 19分	5万人
	野々市市	1時間 22分	5万2千人
	金沢市	1時間 28分	46万4千人
福井県	全域	—	77万1千人
合計			210万5千人※

※圏内に存する「市」のみ人口を算出（「町村」分は含まず）

商圏は福井県全域のほか、滋賀県北部、岐阜県西部、石川県中央部が含まれ、商圏人口は210万人

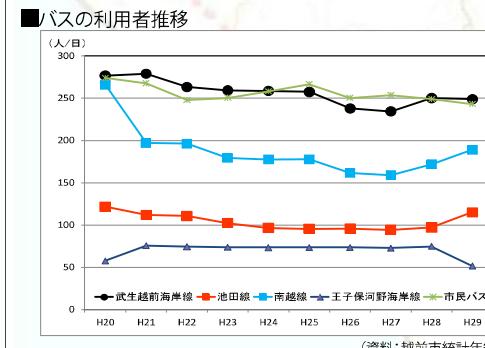
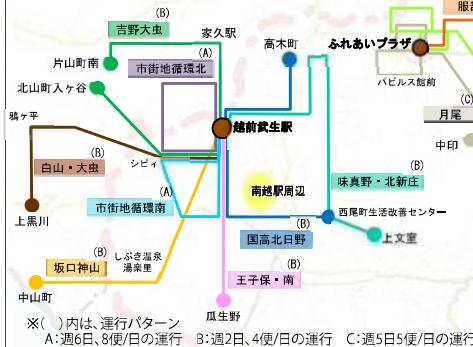
資料：越前市調べ

(2) 交通の状況について

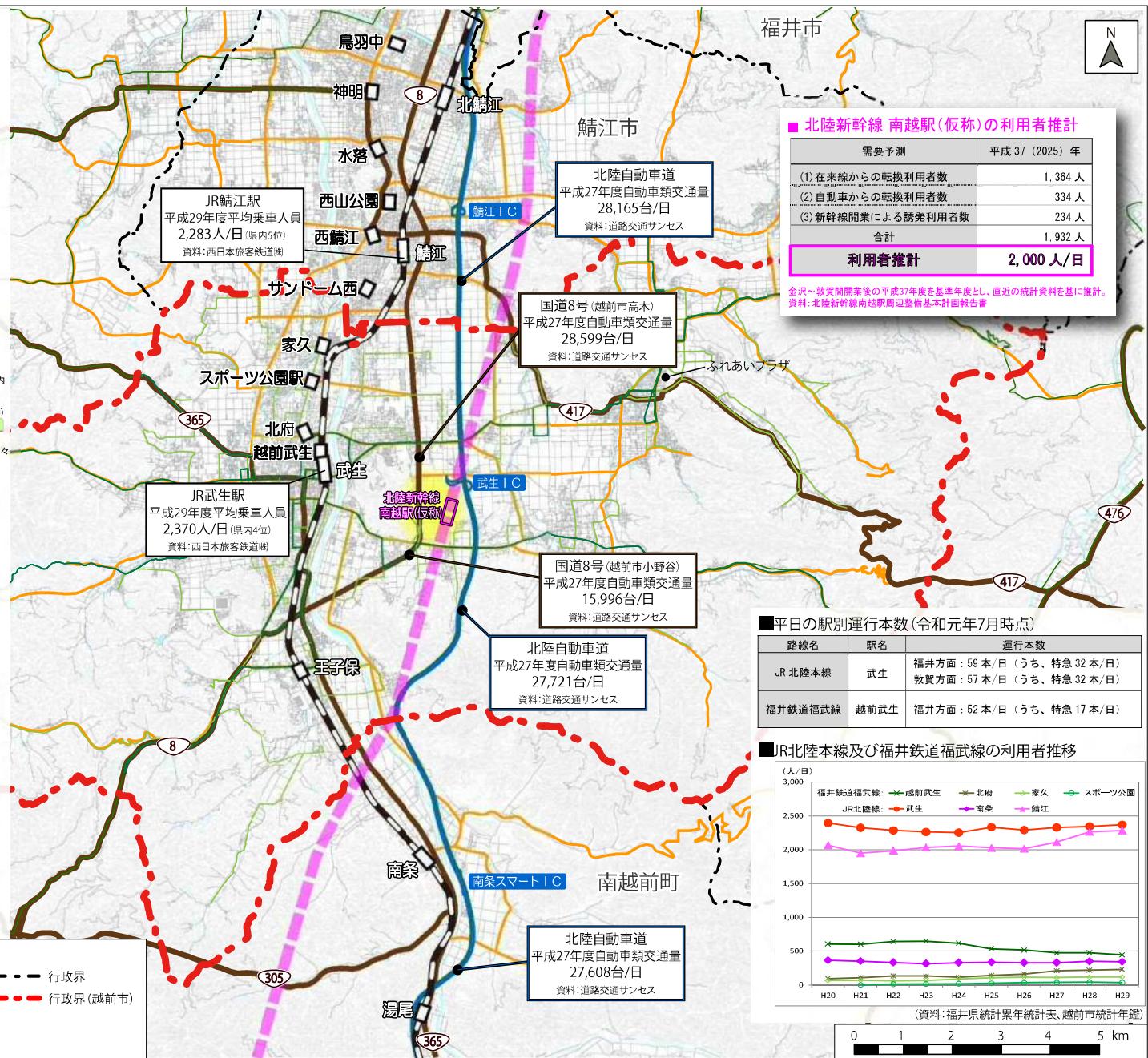
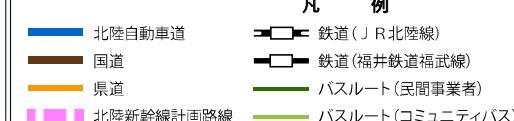
- 越前鉄道バスの便数**
 ・全て武生駅周辺起点:6路線
 ・下り 週191便(平日32便/日)、上り 週190便(平日32便/日)



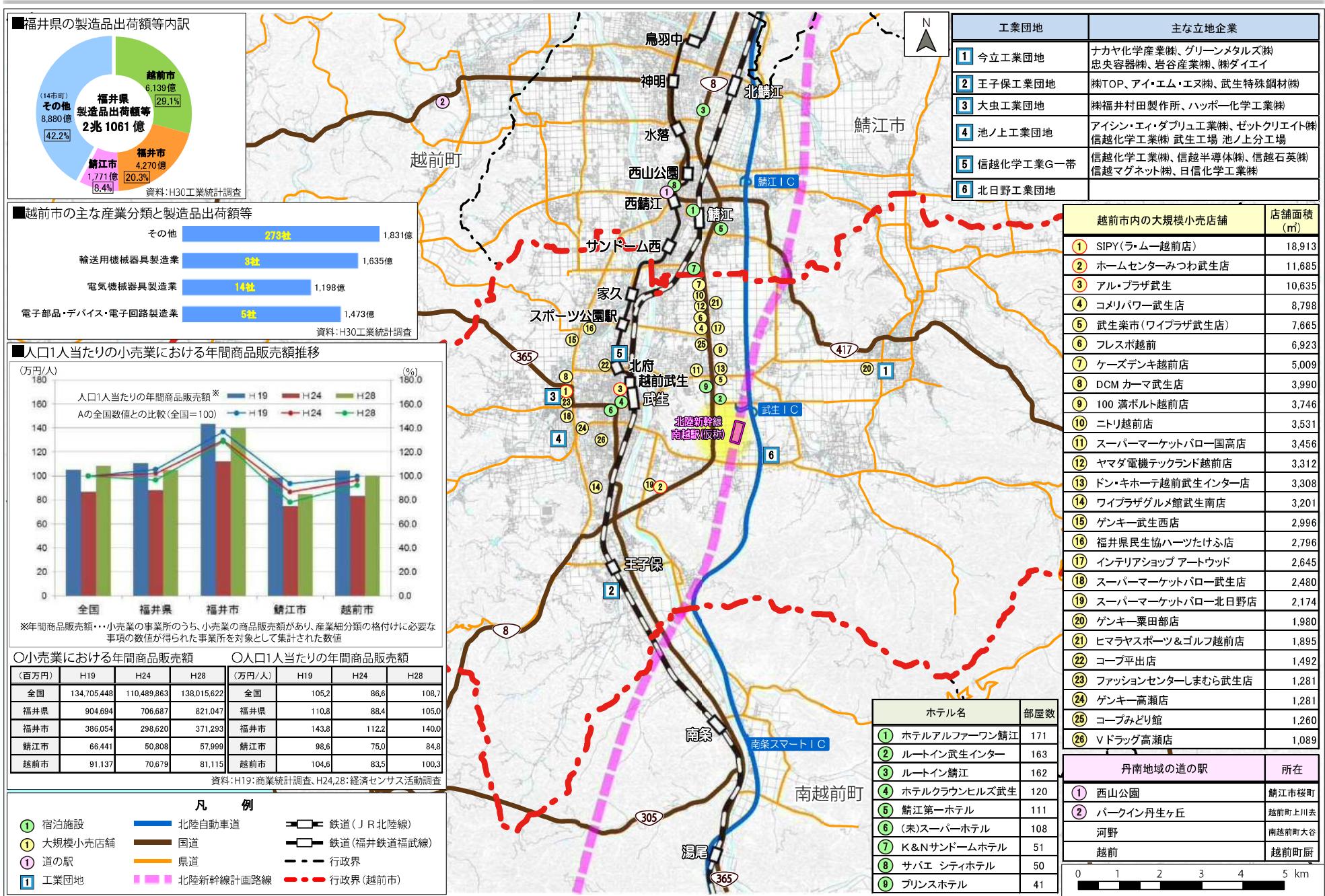
- 越前市市民バス「のろっさ」の便数**
 ・武生駅周辺起点:10路線、週160便、1日24~28便
 ・今立周辺起点 : 3路線、週 75便、1日15便



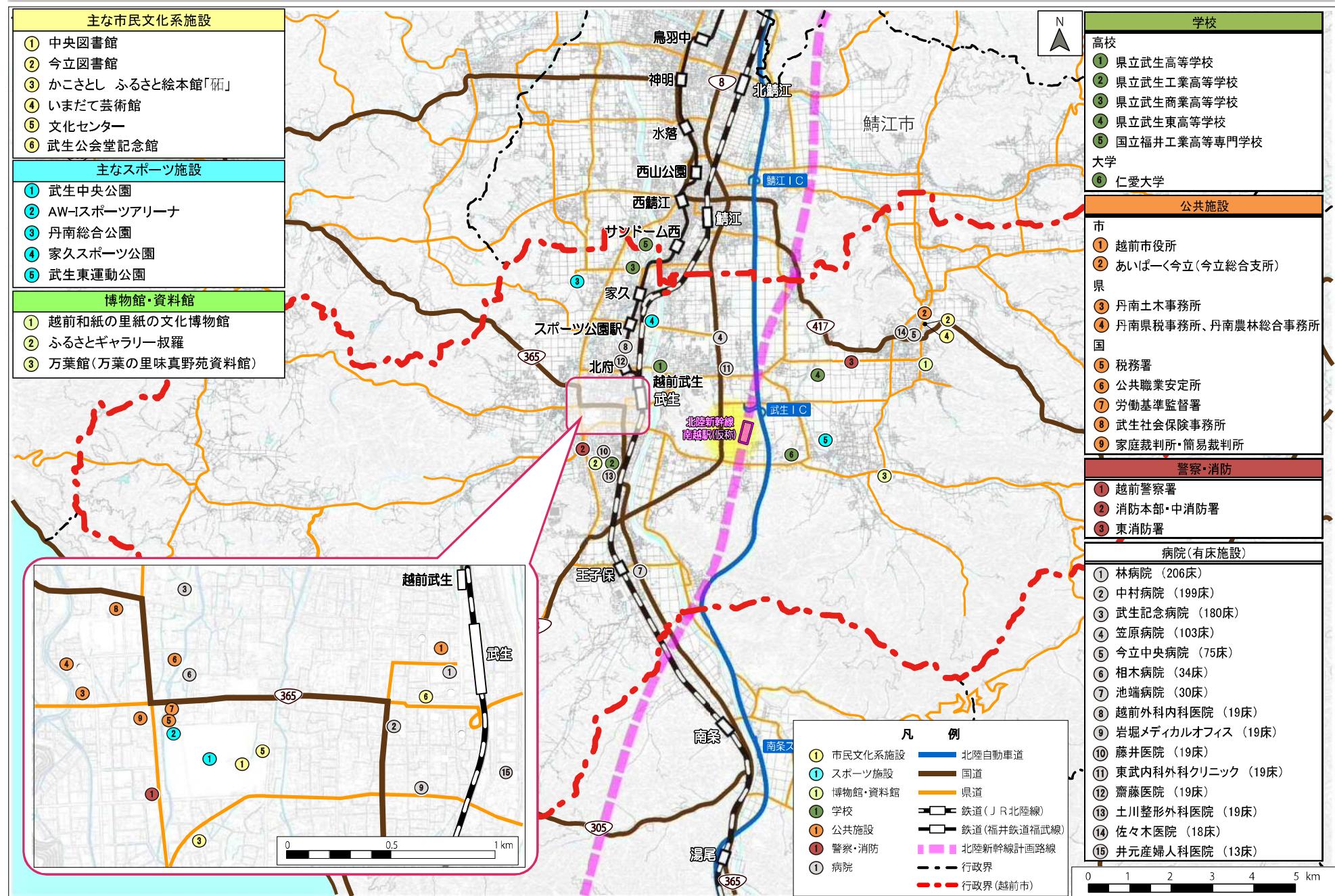
(資料:越前市統計年鑑)



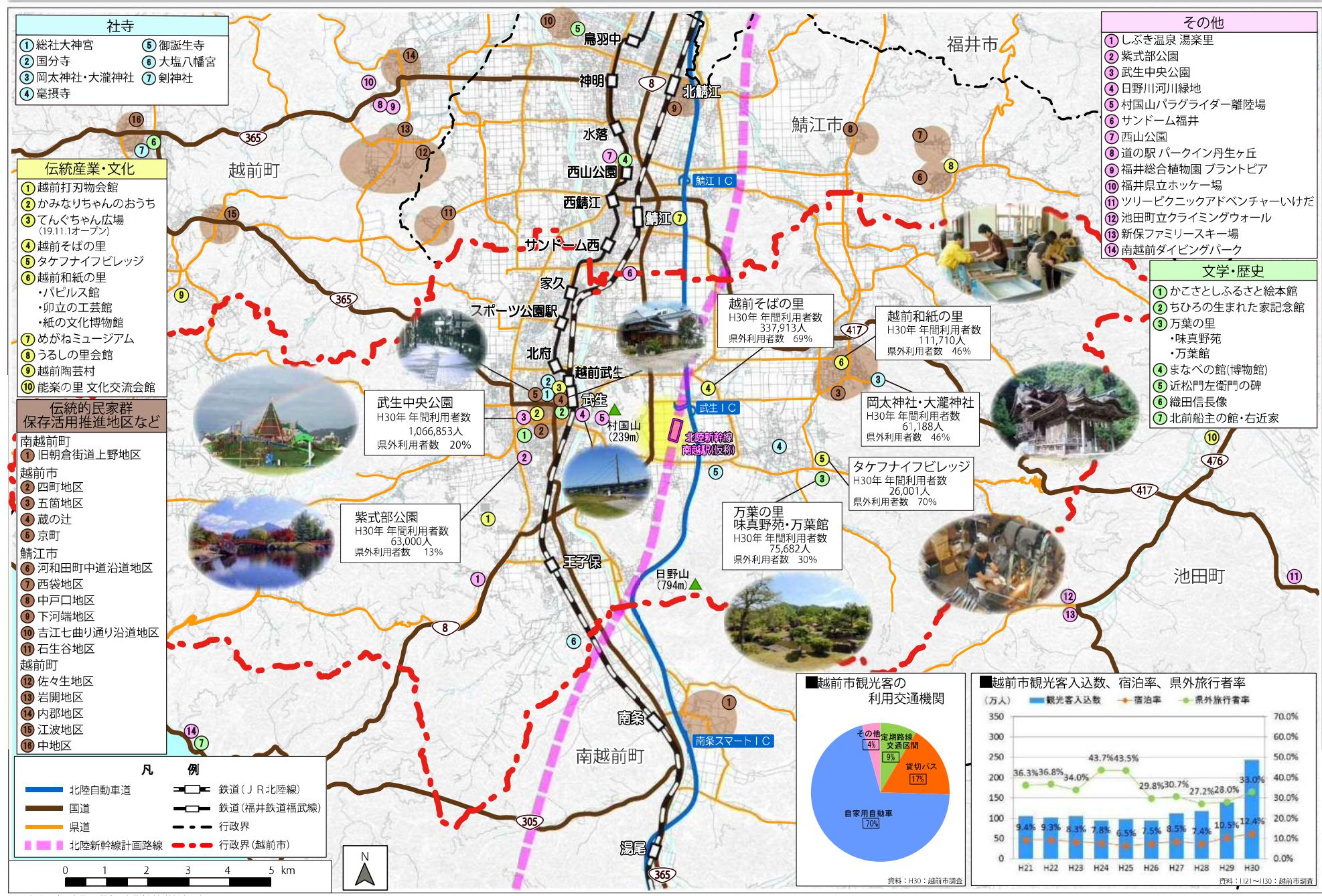
(3) 周辺の民間施設地図



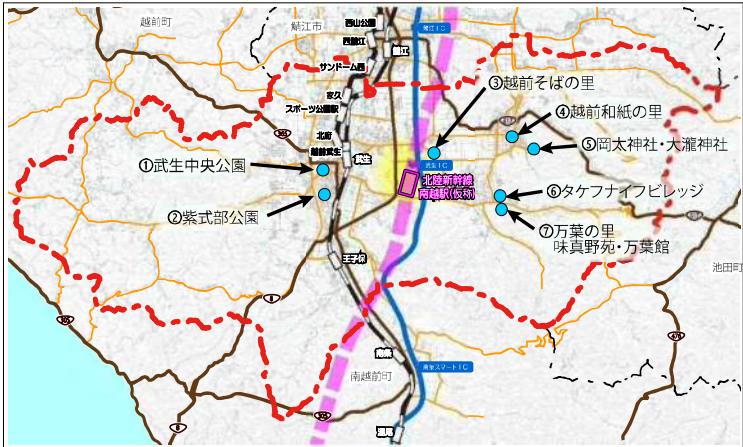
(4) 周辺の公的施設立地状況



(5) 周辺の観光資源について(1)

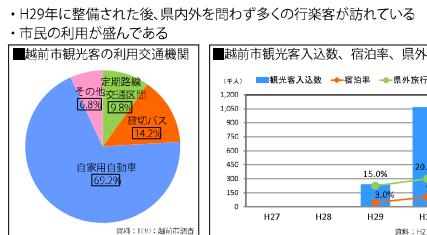


(6) 周辺の観光資源について(2)



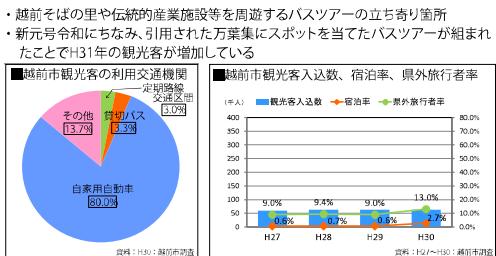
①武生中央公園

- 越前市出身の絵本作家かこさとし氏の監修で整備された公園
- 絵本作品をモチーフにした大型遊具やせせらぎ空間、テニスコートや体育館も整備された運動公園。武生菊人形の会場でもある。



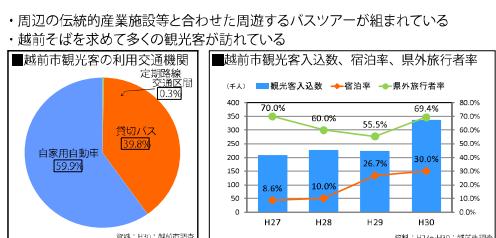
②紫式部公園

- 源氏物語の作者・紫式部を偲んで造られた全国で唯一の寝殿造庭園の公園
- 広大な敷地に日野山をはじめ武生盆地を囲む山々を借景に池や築山を配置
- 公園に隣接する無料休憩所では、紫式部に関する資料を閲覧することができる



③越前そばの里

- 歴史ある越前そばの栽培から製粉・製麺・出荷まですべてを一貫して行っている
- 併設する施設にて、そばの生産工程の見学や、本格的な道具を使用してそば打ち体験ができる

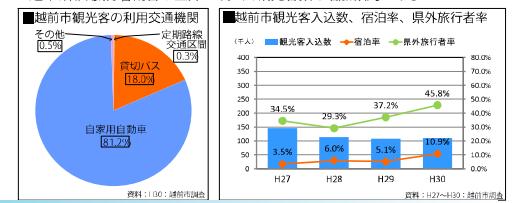


④越前和紙の里

- 越前そばの里がある五箇地区は、1500年の歴史と品質を誇る越前和紙の产地
- 紙書き体験や、伝統工芸士が昔ながらの道具を使い、和紙を作る一連の工程を全国で唯一見学可能な工芸館等、和紙の関連施設がある



- 越前そばの里や周辺の伝統的産業施設等と合わせた周遊するバスツアーが組まれている
- 近年、県外旅行者割合が上昇しており、観光客数も増加傾向にある



⑤岡太神社・大瀧神社

- 岡太神社は、紙漉きの技を伝えたといわれる「川上御前」を全国で唯一の紙祖神として祀っている
- 里宮の本殿と拝殿は江戸時代後期の社殿建築で、歴史的記録の確かさと建築の美しさから、国の重要文化財に指定されている



- 越前そばの里や伝統的産業施設等を周遊するバスツアーの立ち寄り箇所に含まれたことでH29年から観光客数が増加している

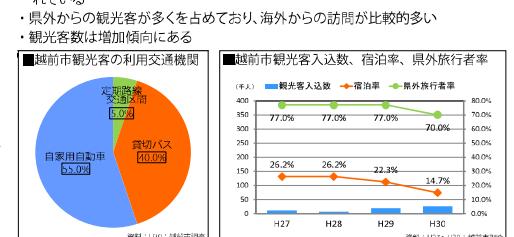


⑥タケナナイビレッジ

- 700年の歴史を持つ、国指定の伝統的工芸品・越前打刃物を製造
- 共同工房では、一般的な分業制ではなく鍛造から研ぎまでの一連の作業が行われ、見学ができる
- 伝統の火造り鍛造から、回転砥石での研ぎまで一連のナイフ作り体験ができる



- 越前そばの里や周辺の伝統的産業施設等と合わせた周遊するバスツアーが組まれている
- 県外からの観光客が多くを占めており、海外からの訪問が比較的多い
- 観光客数は増加傾向にある

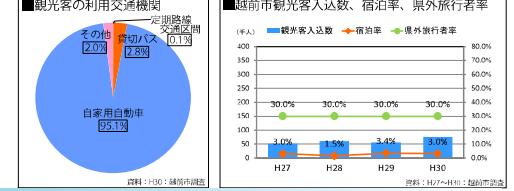


⑦万葉の里 味真野苑・万葉館

- 越前そばの里や伝統的産業施設等と合わせた周遊するバスツアーが組まれ、観光客数は増加傾向にある
- 新元号令和にちなみ、引用された万葉集にスポットを当てたバスツアーが組まれたことでH31年の観光客が増加している



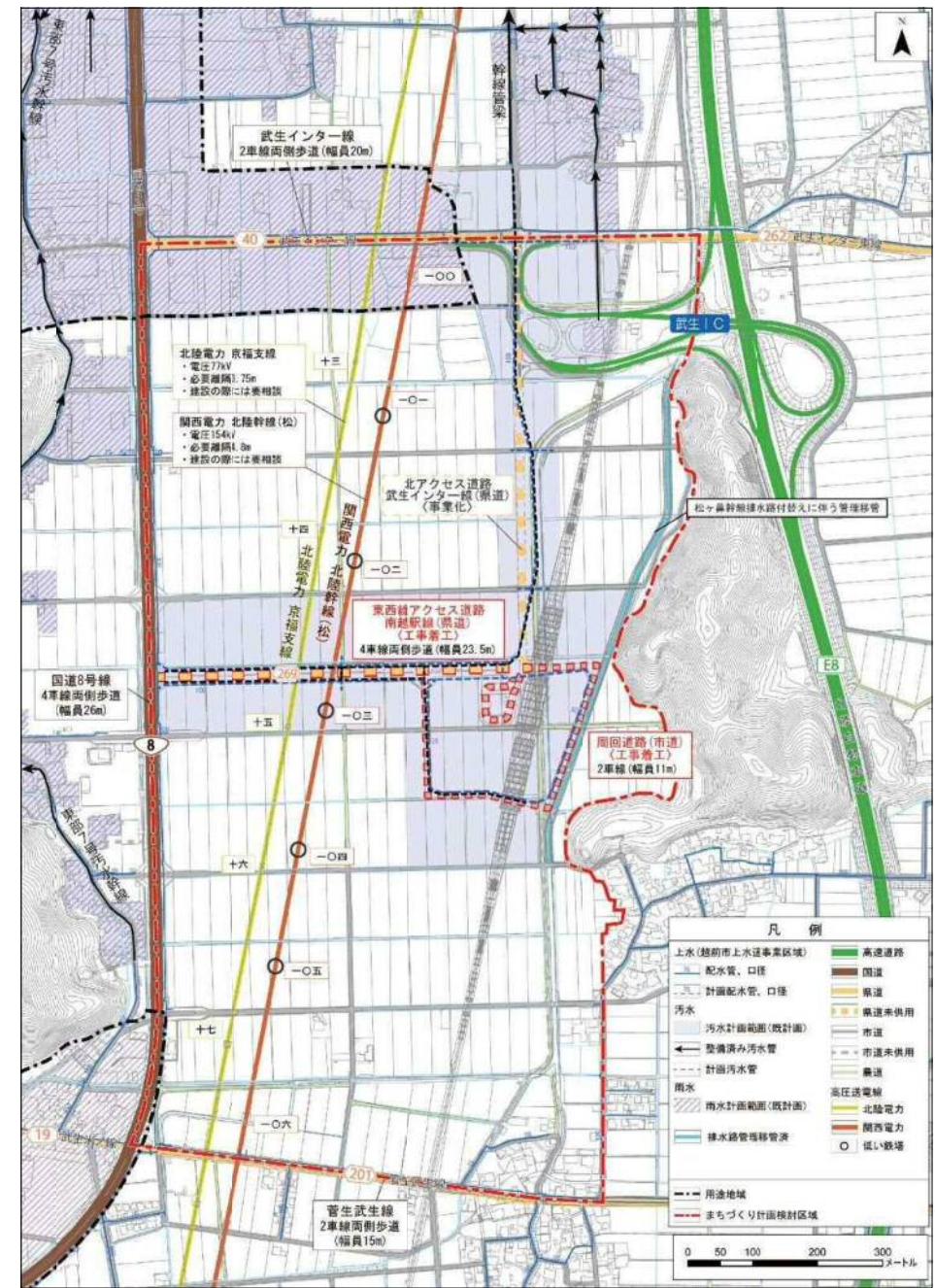
- 越前そばの里や伝統的産業施設等と合わせた周遊するバスツアーが組まれ、観光客数は増加傾向にある
- 新元号令和にちなみ、引用された万葉集にスポットを当てたバスツアーが組まれたことでH31年の観光客が増加している



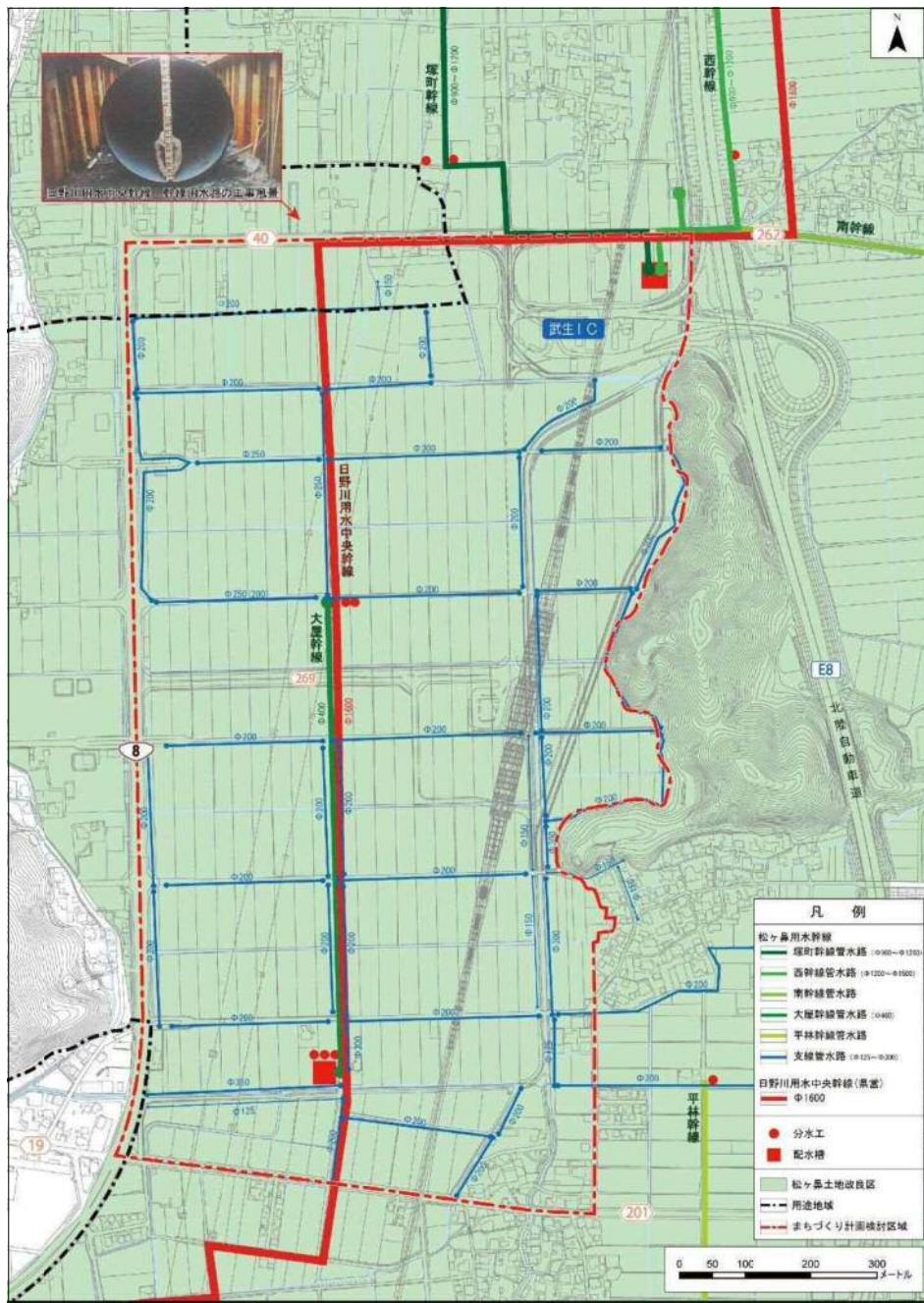
(7) 土地利用の現況



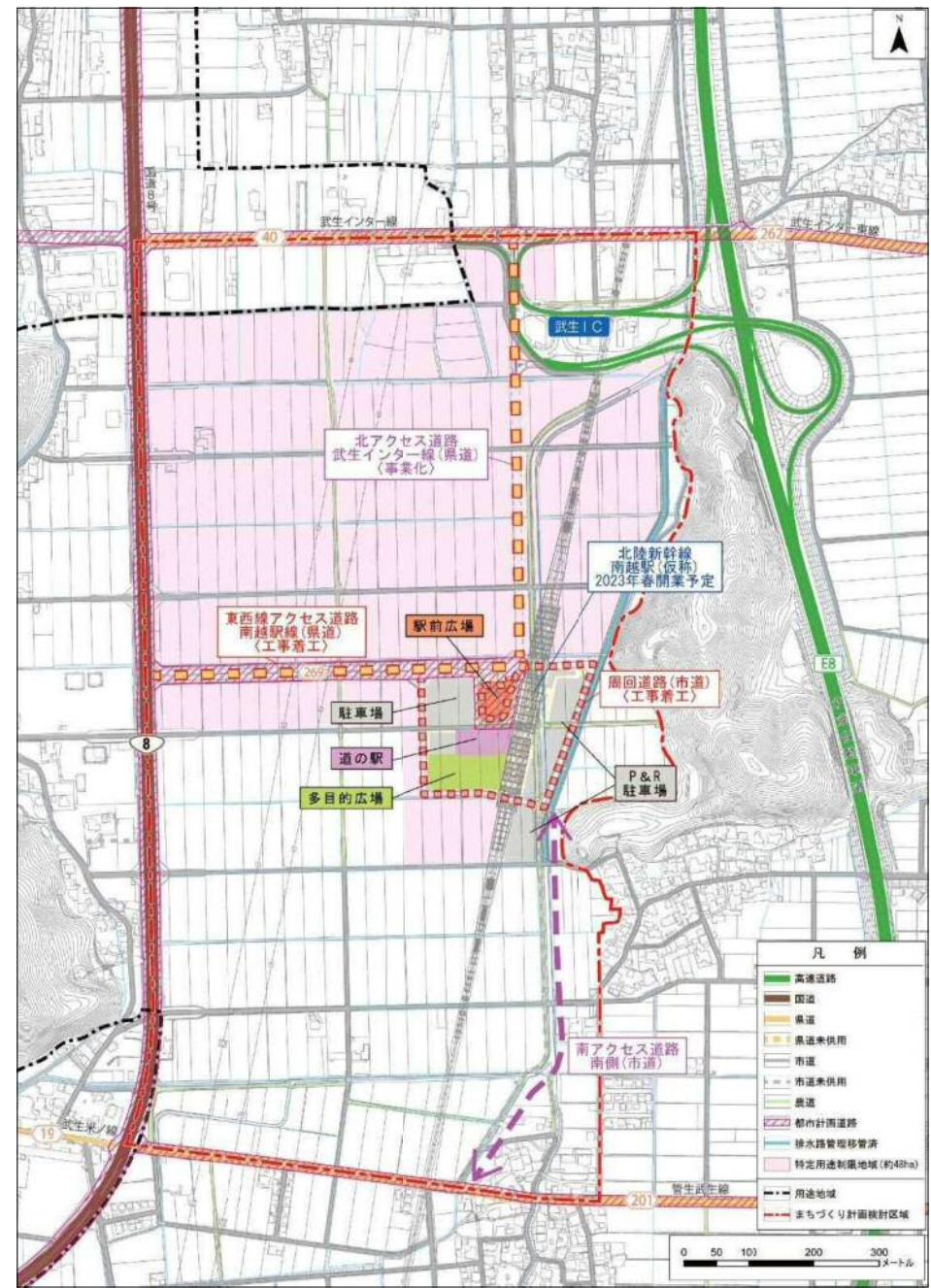
(8) 都市基盤施設



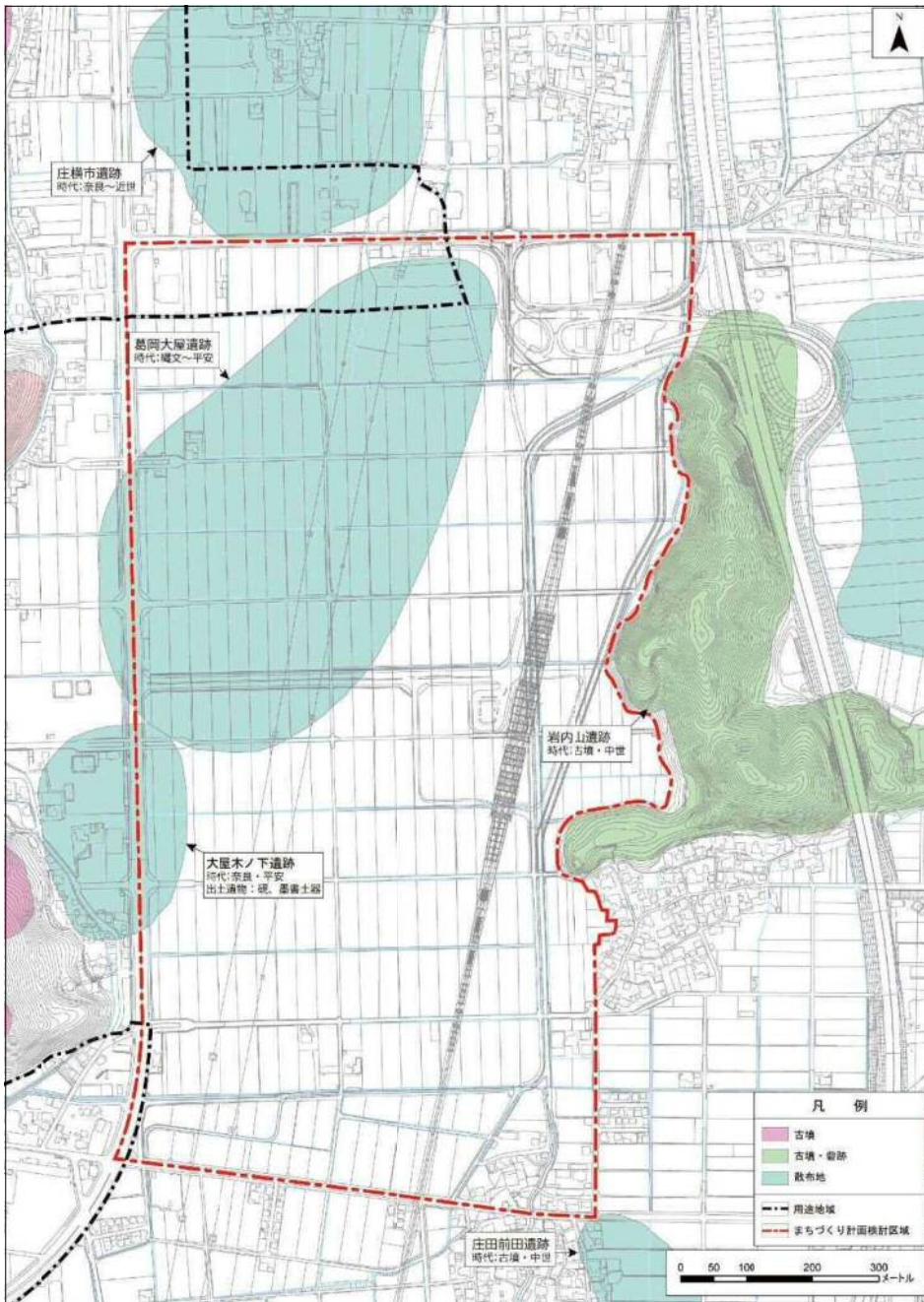
(9) 農業環境の状況



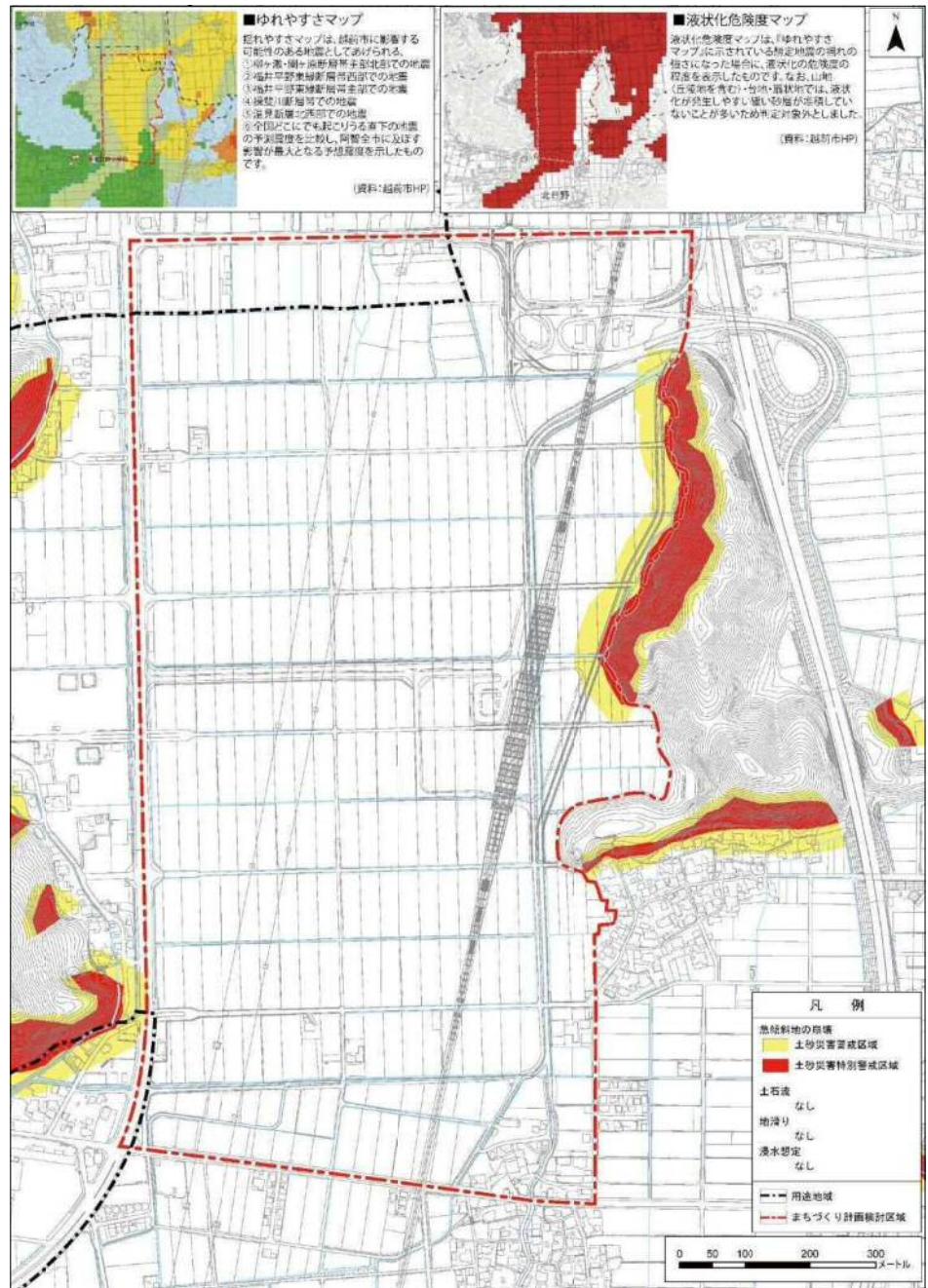
(10) 南越駅周辺まちづくりの動き



(11) 埋蔵文化財



(12) ハザードマップ情報



参考資料 D 南越駅周辺まちづくり協議会との意見交換

平成30年8月31日

第1回南越駅周辺まちづくり協議会設立準備委員会

平成30年10月～11月

各町意見交換会 10/26 庄町、10/28 庄田町、11/2 岩内町、
11/3 大屋町、11/5 葛岡町

(この時の意見を第1回計画策定委員会で提示)

平成30年11月30日

第2回南越駅周辺まちづくり協議会設立準備委員会

平成30年12月21日

南越駅周辺まちづくり協議会設立総会

(平成31年1月30日 第1回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会)

平成31年3月27日

第1回南越駅周辺まちづくり協議会 役員会

平成31年4月

各町意見交換会 4/10 庄町、4/22 岩内町、4/23 葛岡町、
4/24 大屋町、4/26 庄田町

(この時の意見を第2回計画策定委員会で提示)

令和元年5月16日

第2回南越駅周辺まちづくり協議会 役員会

(令和元年5月29日 第2回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会)

令和元年7月9日

南越駅周辺まちづくり協議会 第1回全体会

(令和元年8月30日 第3回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会)

令和元年11月13日

第3回南越駅周辺まちづくり協議会 役員会

(令和元年11月18日 第4回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会)

令和元年11月26日

南越駅周辺まちづくり協議会 第2回全体会

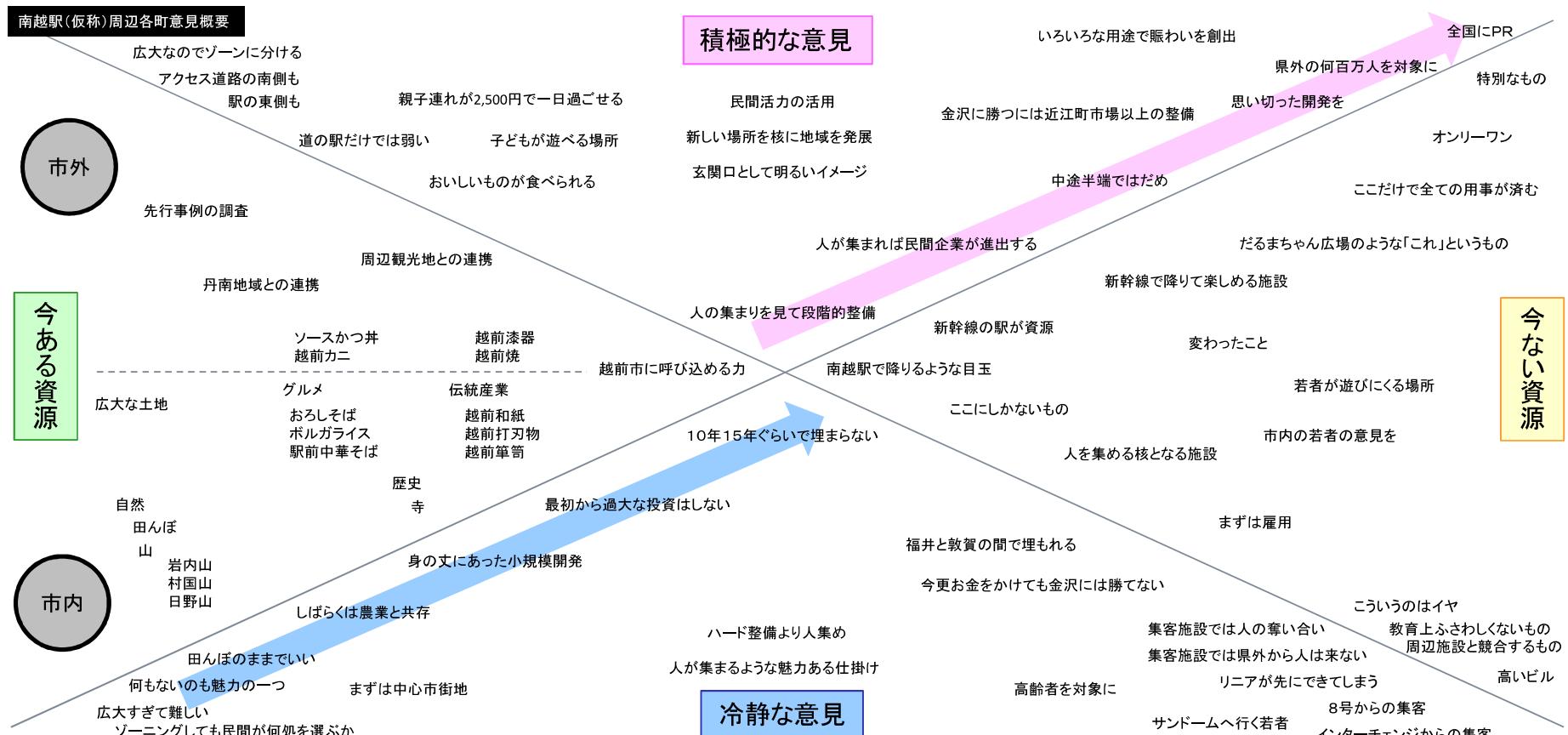
(令和元年12月23日 第5回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会)

令和2年1月21日

南越駅周辺まちづくり協議会 第3回全体会

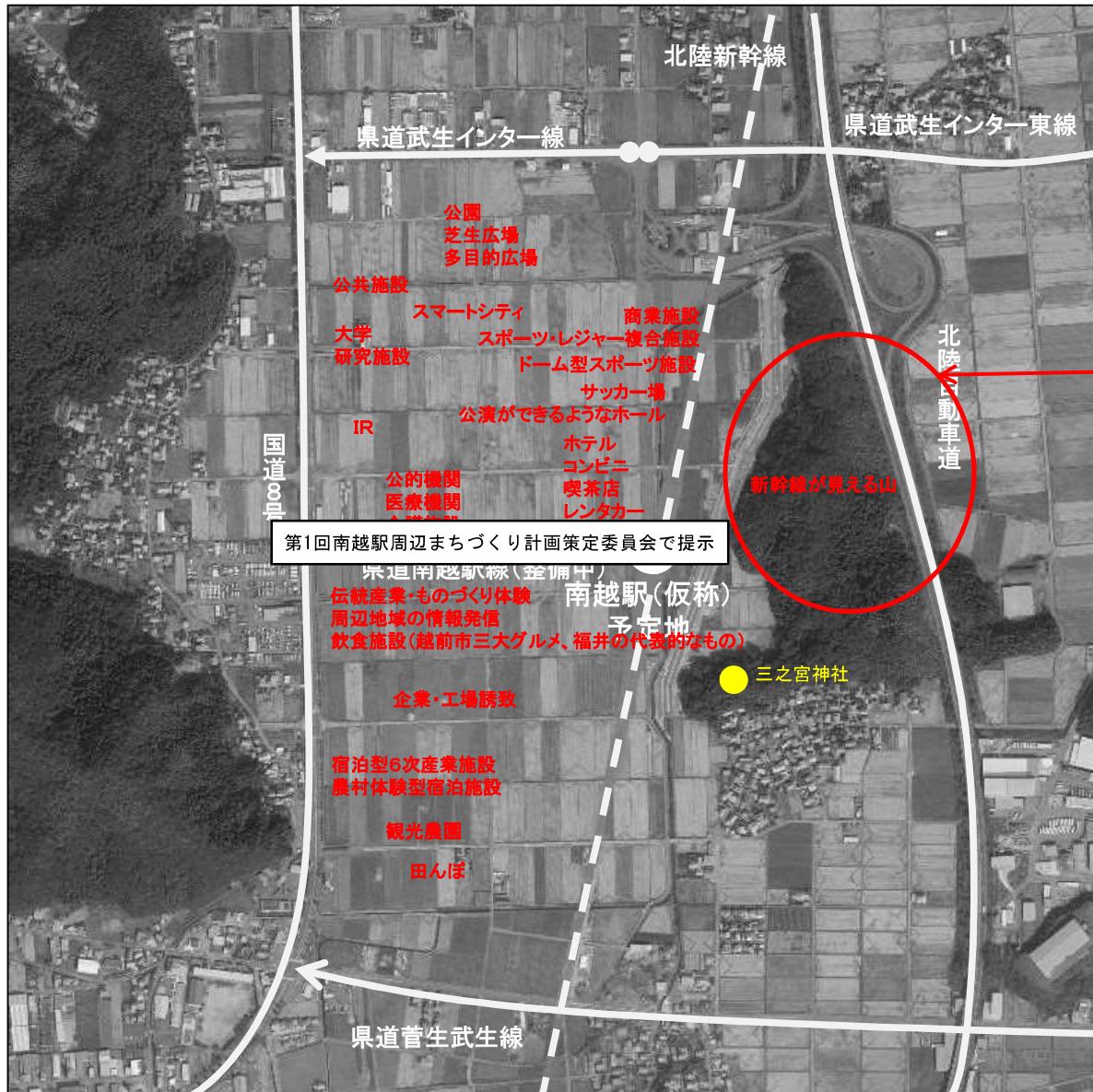
令和2年2月18日

第4回南越駅周辺まちづくり協議会 役員会



イメージする施設	<開発方針>		現状維持			段階的			積極的		
可能性としての意見	食事処 (三大グルメ) レンタカー	観光施設 (伝統産業) (ものづくり体験)	図書館	企業誘致	大規模集客施設						
	ガソリンスタンド	コンビニ	中央官庁出先機関	物流	(ショッピングモール) (アウトレット)						
	道の駅 (福井県中の特産品を) (越前町から魚を)	ホテル	公演ができるホール	工場							
	芝生広場	農村体験型宿泊施設	宿泊型6次産業施設	サッカー場	複合型集客施設 (商業+レジャー)	IR					
	地場物産展	村国山展望台	介護施設	第二恐竜博物館	スマートシティ						
	岩内山展望台 (とりあえず登れるように)	日野山展望台	岩内山公園 (新幹線が見える丘)	第二サンドーム	レジャー施設 (スポーツ+ゲーム)						
			ミニ動物園	パワーセンター (複数の大型店舗)	サファリパーク						
地元の想い	今の生活に不便を感じない	固定資産税上がると困る	自家米の田ぐらいは残したい	公的医療機関	ロープウェイ						
交通網	アクセス道路(8号・駅) アクセス道路(インター・駅)	二次交通(バス連絡網)	村国山トンネル	岩内山公園 (パークリングエリア併設)	周辺施設への影響は						
					治安は						
					中心市街地への影響は						

南越駅周辺まちづくり協議会 まちづくり計画（案）駅周辺



空中写真:越前市

この計画(案)は、こういった施設が必要ではないか、適しているのではないか、というまちづくり協議会からの提案である。

岩内山の段階的整備

1 木を伐採し登山道と新幹線が見える視点場の整備

↓
桜の木や菊の花を地元ボランティアで整備していく
高速道路も見えるようにする

2 遊歩道や史跡の案内看板等を整備し、史跡を活かした展望台に

三之宮神社も遊歩道で結ぶ
将来的な公園としての整備や、高速道路からのアクセスも検討

第2回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会で提示

住民代表(まちづくり協議会役員)からの意見

一度に開発が進むとは考えにくいので、当面農業との共存になるものと考えられる。そのため、開発に際しては次のことに留意する。

- ・ゾーニングによる一定のルールを設ける
- ・残る田の営農に支障をきたさないよう、計画的で段階的な開発を進める(虫食い的な開発はしない)
- ・開発に伴い排水量が増加するため、放流先の水路の整備等、残る田の営農に支障が無いよう配慮する

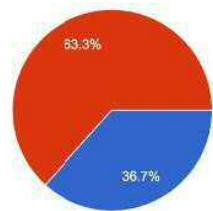
参考資料E 仁愛大学アンケート結果

第一回南越駅アンケート分析結果（回答数：229人）

問1 あなたの性別を教えてください。

（結果）

229件の回答

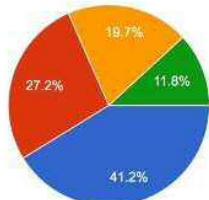


女性 145人 (63.3%)
男性 84人 (36.7%)

問2 学科を選択してください。

（結果）

228件の回答

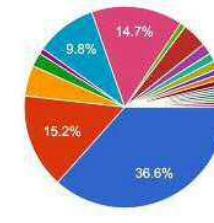


コミュニケーション学科 94人 (41.2%)
心理学科 62人 (27.2%)
子ども教育学科 45人 (19.7%)
健康栄養学科 27人 (11.8%)

問3 あなたの出身地はどこですか。

（結果）

224件の回答



福井市
坂井市
あわら市
勝山市
大野市
鯖江市
越前市
越前町

▲ 1/3 ▼

自由回答

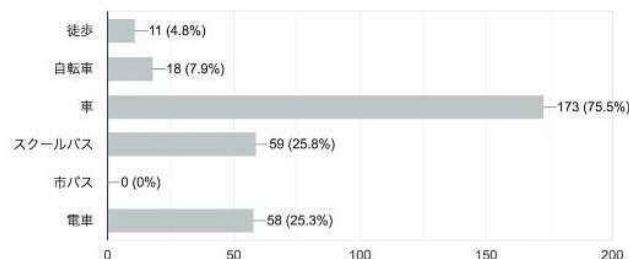
問4 あなたの大学までの通勤方法を教えてください。（複数回答可）

（目的）

南越駅に行くまでの交通手段があるかどうかを明らかにするため。

（結果）

229件の回答



歩く 11人 (4.8%)

自転車 18人 (7.9%)

車 173人 (75.5%) →1位

スクールバス 59人 (25.8%) →2位

市バス 0人 (0%)

電車 58人 (25.3%) →3位

（分析）

車で通勤している学生が、1番多いことから、仁愛大学から近い南越駅にも寄って貰える可能性がある。

しかし、電車通学やスクールバスで大学まで通っている学生も2番目に多く、車で通勤している学生に比べて、南越駅に寄り道する交通手段がなく、気軽にに行くことが難しいのではないか。

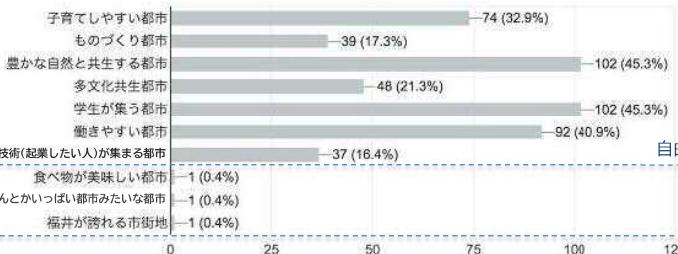
問5 あなたは越前市にどのような都市になってほしいですか。選択してください。
(最高3つ)

（目的）

持続的に愛される越前市にするために、5年後、10年後、その先も視野に入れた選択肢を用意。若者が望む住みやすいまちとはどのようなものなのかを明らかにするため。

（結果）

225件の回答



自由回答

子育てしやすい都市 74人 (32.9%)

ものづくり都市 39人 (17.3%)

豊かな自然と共生する都市 102人 (45.3%) →1位

多文化共生都市 48人 (21.3%)

学生が集う都市 102人 (45.3%) →1位

働きやすい都市 92人 (40.9%) →3位

最先端の技術（起業したい人）が集まる都市 37人 (16.4%)

その他の意見：食べ物が美味しい都市、洋服屋さんとかいっぱい都会みたいな都市、福井が誇れる市街地

（分析）

豊かな自然に囲まれた、学生が集う、都会のような賑やかなまちを望んでいることがわかる。また、若者は将来のこととも考えており、働きやすく、子育てしやすいまちで働きたいと望んでいる若者もいることが読み取れる。

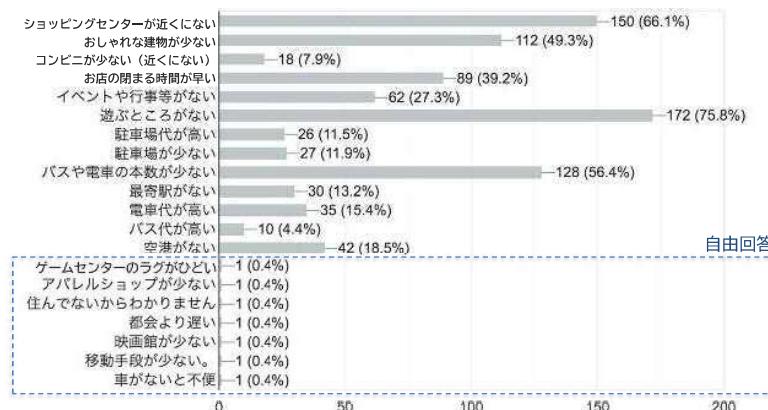
問6 あなたが、福井県に住んでいて、不便に感じていることはなんですか。
選択してください。（最高3つ）

（目的）

若者が過去から現在の越前市に「不満・不足」していると思われる点を明らかにするため。また、他県、他市に比べた越前市の弱みを学生視点で明らかにすることによって、これから越前市をより住みやすいまちにするためのヒントを得ることができると考えたから。

（結果）

227件の回答



ショッピングセンターが近くにない 150人 (66.1%) →2位

おしゃれな建物が少ない 112人 (49.3%) →4位

コンビニが少ない（近くにない） 18人 (7.9%)

お店の閉まる時間が早い 89人 (39.2%) →5位

イベントや行事等がない 62人 (27.3%)

遊ぶところがない 172人 (75.8%) →1位

駐車場代が高い 26人 (11.5%)

駐車場が少ない 27人 (11.9%)

バスや電車の本数が少ない 128人 (56.4%) →3位

最寄駅がない 30人 (13.2%)

電車代が高い 35人 (15.4%)

バス代が高い 10人 (4.4%)

空港がない 42人 (18.5%)

その他の意見：ゲームセンターのラグがひどい、アパレルショップが少ない、都会より遅い、映画館が少ない、移動手段が少ない、車がないと不便

（分析）

・福井県は、車がないと不便で、都会に比べて遊ぶところがないと不満を抱いている若者が多いことがわかる。

・福井県の大型ショッピングセンターといったら、エルバやベルくらいしかなく、もっと大型ショッピングセンターができる欲しいと感じているのではないか。

- ・バスや電車に一本でも乗り遅れると、1時間待ちの場合があり、時間を持て余すことが多い。待ち時間に寄り道しようにも、寄り道できる場所に限りがあるなど、不満に感じているのではないか。

- ・都会のようなおしゃれなカフェ、お店などが都会に比べて少なく、おしゃれな街並みや建物があると、現代の若者は「インスタ映え」な場所に行きたくなる傾向があるのではないか。

- ・福井駅前の西武でも夜の7:30には閉まってしまうので、夜の駅前は主に居酒屋くらいしか空いていないという状況である。

問7 あなたは、南越駅周辺にどのような施設ができたらいいと思いますか。
選択してください。（最高5つ）

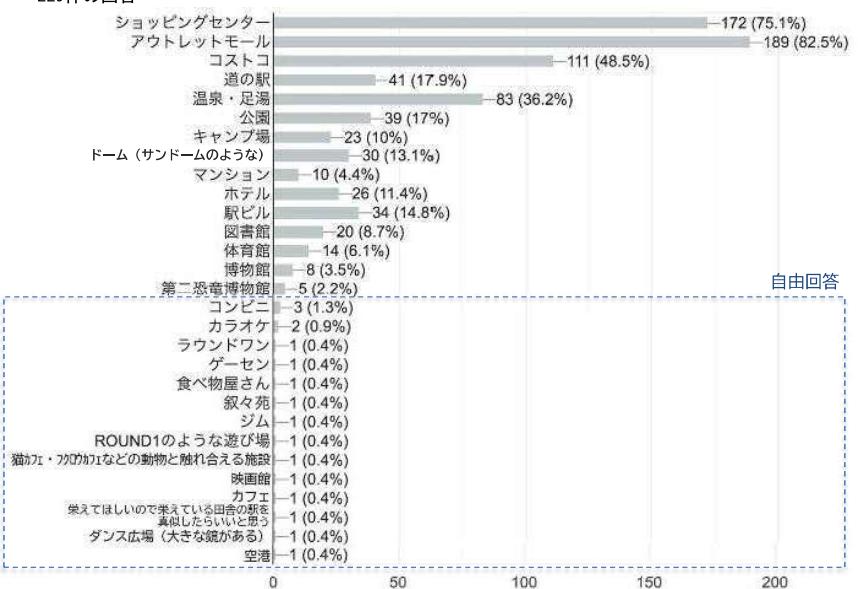
（目的）

南越駅にどのような施設ができたいを明らかにするため。

駅周辺に作れそうなものを自分なりにピックアップして選択肢を用意。

（結果）

229件の回答



ショッピングセンター 172人 (75.1%) →2位

アウトレットモール 189人 (82.5%) →1位

コストコ 111人 (48.5%) →3位

道の駅 41人 (17.9%) →5位

温泉・足湯 83人 (36.2%) →4位

公園 39人 (17%)

キャンプ場 23人 (10%)

ドーム（サンドームのような） 30人 (13.1%)

マンション 10人 (4.4%)

ホテル 26人 (11.4%)

駅ビル 34人 (14.8%)

図書館 20人 (8.7%)

体育館 14人 (6.1%)

博物館 8人 (3.5%)

第二恐竜博物館 5人 (2.2%)

その他の意見：コンビニ、カラオケ、ラウンドワン、ゲーセン、食べ物屋さん、叙々苑（焼肉

チェーン店）、ジム、猫カフェ・クロウカフェなどの動物と触れ合える施設、映画館、カフ

エ、空港、栄えてほしいので栄えている田舎の駅の真似をしたらいいと思う、ダンス広場（大

きな鏡がある）

（分析）

- ・アウトレットモール、ショッピングセンターと回答したことから、若者は大型店舗やショッピングできる施設を望んでいることがわかる。
- ・コストコは石川県にはあるけれど、福井県にはないため、「福井県にはないもの」を欲しがる傾向があるのではないか。（アウトレットモールも富山県にはあるけど、福井県にはない。）北陸三県にはできても、福井県になければ、移動時間もかかるので気軽にに行くことができないし、不便に感じている若者が多いのではないかと考えられる。
- ・大学生である若者も、温泉や足湯を好む傾向があると読み取れる。

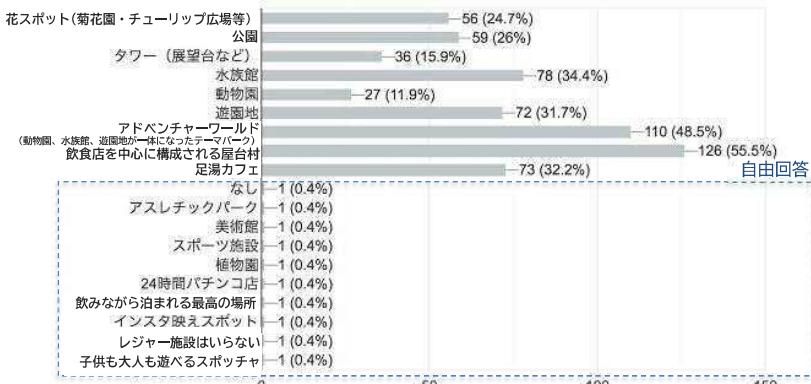
問8 あなたは、南越駅にどのようなレジャー施設がでてほしいですか。
選択してください。（最高4つ）

（目的）

若者がどのような遊べる施設を望んでいるのかを明らかにするため。

（結果）

227件の回答



花スポット（菊花園・チューリップ広場等） 56人 (24.7%)

公園 59人 (26%)

タワー（展望台など） 36人 (15.9%)

水族館 78人 (34.4%) →3位

動物園 27人 (11.9%)

遊園地 72人 (31.7%) →5位

アドベンチャーワールド

（動物園、水族館、遊園地が一体になったテーマパーク） 110人 (48.5%) →2位

飲食店を中心に構成される屋台村 126人 (55.5%) →1位

足湯カフェ 73人 (32.2%) →4位

その他の意見：なし（特に何もいらないという意見）、アスレチックパーク、美術館、スポーツ施設、植物園、24時間パチンコ店、飲みながら泊まれる最高の場所、インスタ映えスポット、行きたいと思える場所にするにはレジャー施設はいらない、子供も大人も遊べるスポットヤ

（分析）

- ・飲食店を中心に構成される屋台村と回答する若者が多かったことから、⑭⑯でも上位にランクされていた「食べ歩き」できる場所を望んでいるのではないか。
- ・福井県には、アドベンチャーワールドなどの遊園地やテーマパークが少ないため、遊びに行くとしたら、県外に遊びにくしかないので、流出してしまうのではないか。
- ・福井県には、越前松島水族館がありますが、小規模な施設で、親子で楽しめる一方で、大学生が行きたくなるような場所ではないのではないかという潜在的な不満があるのではないか。また、何度も行きたくなるような場所でもないので、もっと、大人でも楽しめるような、大規模な水族館を望んでいるのではないかと予想。
- ・あわら温泉には無料の足湯がある。ここは、あわら湯のまち駅（越鉄三国芦原線の駅）から近い場所に設置されているので、バスや電車の到着時間やお店のOPENまで、足湯に浸って待つために利用している人もいると口コミサイトで見つけた。このように、足湯カフェが駅前にあると、待ち時間に気軽にに行くことができるので、個人的に良いと思った。

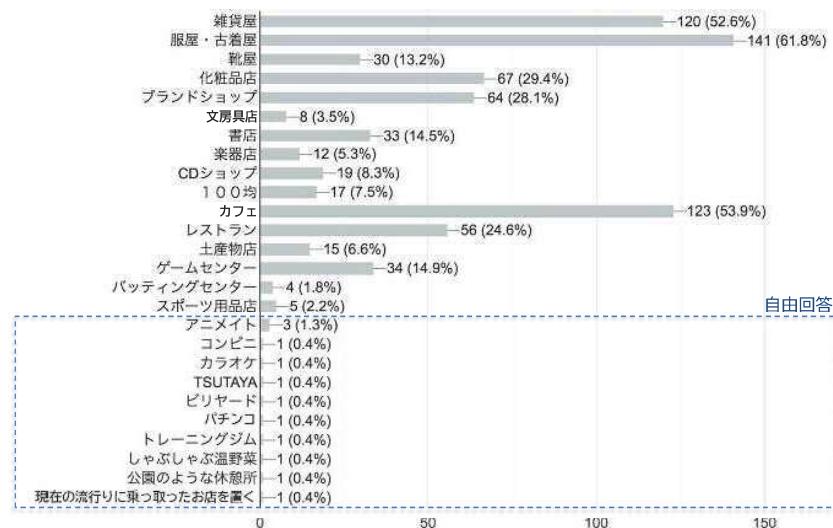
問9 あなたは、南越駅にどのようなお店がてほしいですか。
選択してください。(最高4つ)

(目的)

若者がどのようなお店を望んでいるのかを明らかにするため。

(結果)

228件の回答



雑貨屋 120人 (52.6%) →3位
 服屋・古着屋 141人 (61.8%) →1位
 靴屋 30人 (13.2%)
 化粧品店 67人 (29.4%) →4位
 ブランドショッピング 64人 (28.1%) →5位
 文房具店 8人 (3.5%)
 書店 33人 (14.5%)
 楽器屋 12人 (5.3%)
 CDショップ 19人 (8.3%)
 100均 17人 (7.5%)
カフェ (スタバ・タピオカ等) 123人 (53.9%) →2位
 レストラン 56人 (24.6%)
 土産物店 15人 (6.6%)
 ゲームセンター 34人 (14.9%)
 パッティングセンター 4人 (1.8%)
 スポーツ用品店 5人 (2.2%)
 その他の意見 : アニメイト、コンビニ、カラオケ、TSUTAYA、ビリヤード、パチンコ屋（等価）
 じゃんじゃん来店イベント付き、トレーニングジム、しゃぶしゃぶ温野菜、公園のような休憩所、現代の流行りに乗っ取ったお店を置く

(分析)

服屋、雑貨屋、カフェを望んでいることがわかる。服屋と回答した背景にはショッピングセンターーやアウトレットモール、雑貨屋・カフェと回答した背景にはおしゃれな建物を望んでいのではないかと予想。

問10 あなたは普段、服をどこで買っていますか。

(目的)

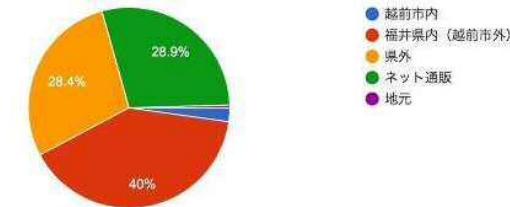
若者は普段、どこで服を買っているか傾向を知るため。県外と答えた人が多い場合、福井県にはない服屋を求めて、わざわざ県外まで足を運んでいると予想できる。
 県外に流れていく若者をくい止めることができないのではないかと思ったから。

(仮説)

県外に服を買いに行っている若者が多い。

(結果)

225件の回答



越前市内 5人 (2.2%)

福井県内 (越前市外) 90人 (40%) →1位

県外 64人 (28.4%)

ネット通販 65人 (28.9%)

その他の意見 : 地元

(分析)

意外にも、福井県内で服を買っている若者が多いことがわかった。主に福井県内のどこで服を買っているのか今後、詳しく調査していきたい。

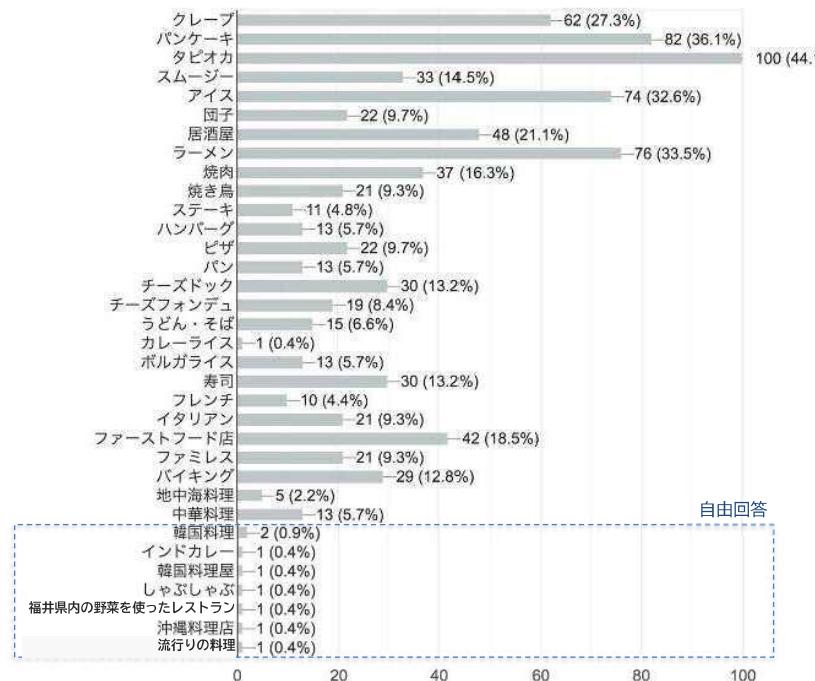
問11 あなたは、南越駅にどのようなグルメ店ができるとほしいですか。
選択してください。(最高5つ)

(目的)

若者がどのようなグルメ店を望んでいるのかを明らかにするため。

(結果)

227件の回答



クレープ 62人 (27.3%) →5位
 パンケーキ 82人 (36.1%) →2位
 タピオカ 100人 (44.1%) →1位
 スムージー 33人 (14.5%)
 アイス 74人 (32.6%) →4位
 団子 22人 (9.7%)
 居酒屋 48人 (21.1%)
 ラーメン 76人 (33.5%) →3位
 焼肉 37人 (16.3%)
 焼き鳥 21人 (9.3%)
 ステーキ 11人 (11%)
 ハンバーグ 13人 (5.7%)

ピザ 22人 (9.7%)
 パン 13人 (5.7%)
 チーズドック 30人 (13.2%)
 チーズフォンデュ 19人 (8.4%)
 うどん・そば 15人 (6.6%)
 カレーライス 1人 (0.4%)
 ポルガライス 13人 (5.7%)
 寿司 30人 (13.2%)
 フレンチ 10人 (4.4%)
 イタリアン 21人 (9.3%)
 ファーストフード店 42人 (18.5%)
 ファミレス (9.3%)
 バイキング (12.8%)
 地中海料理 (2.2%)
 中華料理 (5.7%)

その他の意見：韓国料理、インドカレー、しゃぶしゃぶ、福井県内の野菜を使ったレストラン、沖縄料理店、流行りの料理

(分析)

タピオカ、パンケーキ、クレープ、アイス等と回答した背景からはスイーツ店やカフェがで
きてほしいことがわかる。

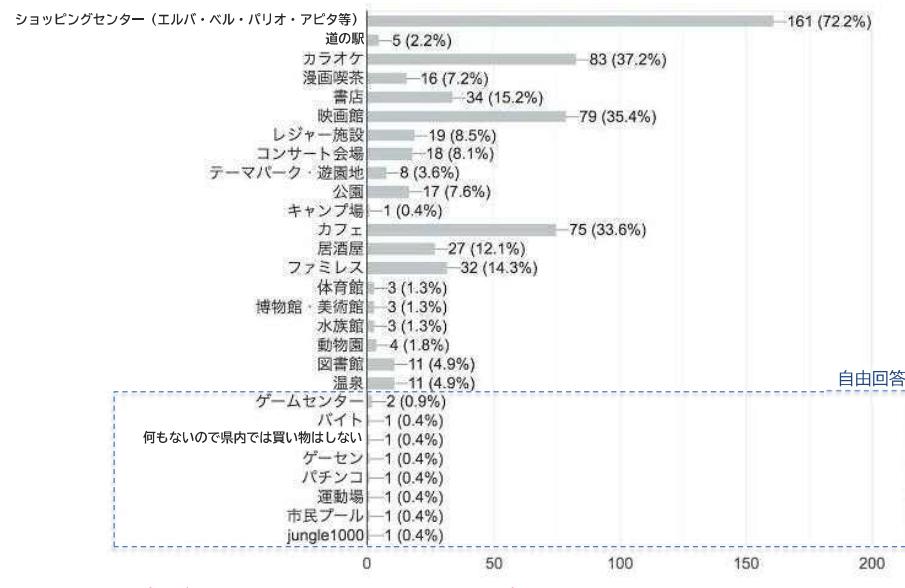
問 12 あなたが、普段土日や祝日に利用する場所はどこですか。
選択してください。（最高 5 つ）

（目的）

若者が休日に出かける場所の傾向を知ることによって、それらの施設を南越駅に作ることが可能ならば、福井県内に住む若者を呼び込むことができると思ったから。

（結果）

223件の回答



ショッピングセンター（エルバ・ベル・パリオ・アビタ等） 161人 (72.2%) →1位

道の駅 5人 (2.2%)

カラオケ 83人 (37.2%) →2位

漫画喫茶 16人 (7.2%)

書店 34人 (15.2%) →5位

映画館 79人 (35.4%) →3位

レジャー施設 19人 (8.1%)

コンサート会場 18人 (8.1%)

テーマパーク・遊園地 8人 (3.6%)

公園 17人 (7.6%)

キャンプ場 1人 (0.4%)

カフェ 75人 (33.6%) →4位

居酒屋 27人 (12.1%)

ファミレス 32人 (14.3%)

体育館 3人 (1.3%)

博物館・美術館 3人 (1.3%)

水族館 3人 (1.3%)

動物園 4人 (1.8%)

図書館 11人 (4.9%)

温泉 11人 (4.9%)

その他の意見：ゲームセンター、バイト、何もないで県内では買い物はしない、ゲーセン、パチンコ、運動場、市民プール、jungle1000。

（分析）

休日になると、若者は大型ショッピングセンター（エルバ・ベル）に集まる傾向があるのでないか。しかし、他に行く場所がないからという理由で、回答した人もいると仮定した場合、大型ショッピングセンターを福井に増やす点でも、南越駅に作ることで多くの利点があるのではないかと予想。

問 13 あなたは土日や祝日に、県外に遊びに行きますか。

（目的）

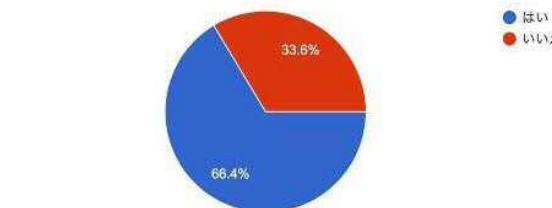
県外に遊びにいくと回答する若者が多い場合、福井県内には遊びどころがなく、県外には魅力的な場所があり、そこに流れしていくことが予測できるため。

（仮説）

県外に遊びに行くと回答する若者が多い

（結果）

229件の回答



はい 152人 (66.4%)

いいえ 77人 (33.6%)

（分析）

⑥で「遊びどころがない」と回答した人たちが、主に県外に遊びに行くと回答しているのではないかと予想。

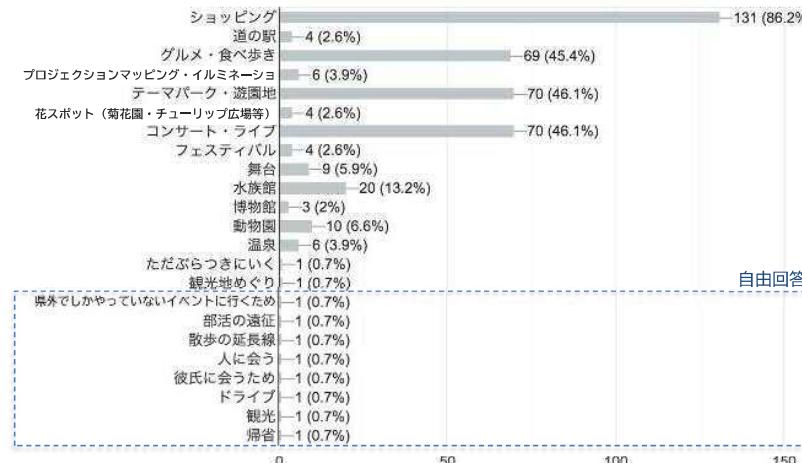
問14 土日や祝日に県外に遊びに行くと回答した方に質問です。遊びに行った目的はなんですか。選択してください。（最高4つ）

(目的)

県外にはあって県内（福井）にはないものを明らかにし、どういった目的で、県外に遊びに行ったのかを把握するため。

(結果)

152件の回答



ショッピング 131人 (86.2%) →1位

道の駅 4人 (2.6%)

グルメ・食べ歩き 69人 (45.4%) →4位

プロジェクトマッピング・イルミネーション 6人 (3.9%)

テーマパーク・遊園地 70人 (46.1%) →2位

花スポット（菊花园・チューリップ広場等） 4人 (2.6%)

コンサート・ライブ 70人 (46.1%) →2位

フェスティバル 4人 (2.6%)

舞台 9人 (5.9%)

水族館 20人 (13.2%) →5位

博物館 3人 (2%)

動物園 10人 (6.6%)

温泉 6人 (3.9%)

その他の意見：ただぶらつきにいく、観光地めぐり、県外でしかやっていないイベントに行くため、部活の遠征、散歩の延長線、人に会う、彼氏に会うため、ドライブ、帰省。

(分析)

ショッピング、グルメ・食べ歩き、テーマパーク・遊園地、コンサート・ライブ、水族館の回答数が多かったことから、より詳しく、どのような目的で何を買いかにショッピングに行く行くのか、どこのテーマパークに若者は遊びに行くのかなどを把握する必要があるのではないか。

問15 あなたは、GW中にどこに遊びに行きましたか。

(目的)

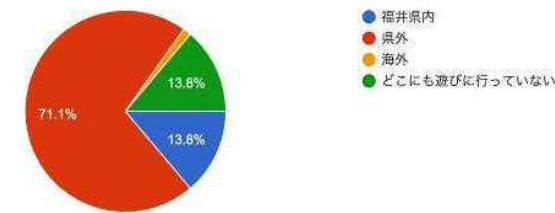
GW中に、県外へ若者が流出する割合を把握するため。

(仮説)

県外と答える若者が多い。

(結果)

152件の回答



福井県内 21人 (13.8%)

県外 108人 (71.1%)

海外 2人 (1.3%)

どこにも遊びに行っていない 21人 (13.8%)

(分析)

GW中にも、県外に遊びに行くと回答した人が多いことから、県外にはあって、福井県にはないものを明らかにするために、細かく、どのような施設を利用しているのか把握する必要がある。都会にある施設を参考にして、南越駅にも作ることが可能ならば、県外の若者流出を少しでも防ぐことができるのではないか。

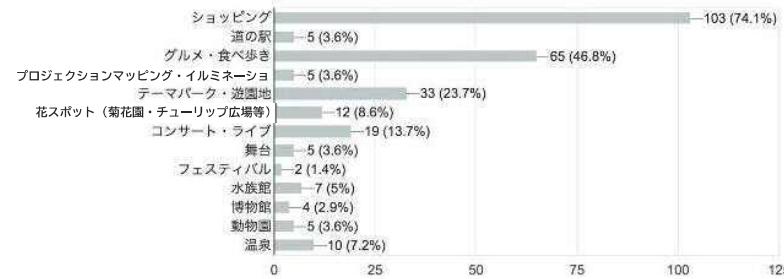
問16 GW中に、県外に遊びに行ったと回答した方に質問です。遊びに行った目的はなんですか。選択してください。（最高4つ）

（目的）

どういった目的で、県外に遊びに行ったのかを把握するため。

（結果）

139件の回答



ショッピング 103人 (74.1%) →1位

道の駅 5人 (3.6%)

グルメ・食べ歩き 65人 (46.8%) →2位

プロジェクションマッピング・イルミネーション 5人 (3.6%)

テーマパーク・遊園地 33人 (23.7%) →3位

花スポット（菊花園・チューリップ広場等） 12人 (8.6%)

コンサート・ライブ 19人 (13.7%) →4位

舞台 5人 (3.6%)

フェスティバル 2人 (1.4%)

水族館 7人 (5%)

博物館 4人 (2.9%)

動物園 5人 (2.9%)

温泉 10人 (7.2%) →5位

参考資料F 市場調査(企業アンケート)の結果

(1) 市場調査の実施

① 目的

- ・南越駅周辺のまちづくりの情報提供を行い、まちづくりへの意見や概略の立地意向を把握し、まちづくり計画検討の参考とする。

② アンケート調査

<対象>	・売上上位企業 (全国展開事業者 (近畿圏展開事業者	約5,000社 約2,000社 約3,000社
<時期>	・8月から10月にアンケート用紙を郵送発送・回収	
③ ヒアリング調査	・ホテル事業者(ビジネスホテルを展開する事業者) ・大手デベロッパー(都市開発・商業開発等)	

<時期> 8月から10月

(2) アンケートについて

- ① 発送数 5,015件 対して、回答数 447件
- ② 越前市を立地の候補地として検討する可能性がある事業者 19社
- ③ 検討施設用途として多いのは、「ホテル」、「本社・事務所」であり、店舗、製造施設、物流施設、研究所・研修所もある。
- ④ 行政に期待する企業支援策等としては、「補助金の交付」(51%)「税制優遇」(49%)「採用活動・人材育成支援」(40%)「行政のフォローアップ窓口」(25%)が多い。

(3) ホテル事業者へのヒアリングについて

- ① 越前市の工業出荷額の規模は大きく、特に新幹線駅前ということで、いずれ、まちづくりが進んでくると、魅力的な場所になることは確実だと思われる。
- ② 南越駅前地区は、これまで知らなかった地域なので立地条件が読めていないし、また、周辺のまちづくりが進んでいない現時点では、判断がしづらい。
- ③ ビジネスホテルの新規出店にあたっては、立地場所周辺の賑わいや、工場や企業、集客施設の集積、立地都市の産業の規模(工業出荷額等)の大きさに留意する。
- ④ 地元企業等が建設し、長期に渡り賃貸という形で運営のみに従事するという経営形態が近年は多い。

(4) レンタカー事業者へのヒアリングについて

- ① 南越駅(仮称)開業に合わせて出店したい。

(5) 大手デベロッパーのヒアリングについて

- ① 立地の可能性は感じられるものの、圏域の市場を考えると、大型商業施設だけでの集客力には不安がある。
 - ② 大型商業施設は長期的に検討しているが、まとまった適地が徐々に少なくなってきた。開発をしていく可能性はあるので長い目で検討していくたい。
 - ③ 当該地の田園風景が広がる立地を活かして観光につなげるなど、地元にあるものを活かしたコンテンツを作り上げることが大切。
 - ④ 物流系は滋賀エリア等でも適地が少なくなっている。当該地は、交通利便性の高い立地にある大規模用地なので、企業等の立地可能性は十分にある。
- ◆開発の可能性はあるが、直ちに検討に入る段階ではなく、引き続き情報を得ながら、長期的な視点で判断していくという企業が多い。

(6) まとめ

- ① 駅開業までに立地させたい機能の一つであるホテルについては、興味をもっている事業者はいるので、今後、継続して情報提供や誘致活動を進めることが肝要だと考えられる。
- ② 大手デベロッパーなどは大きな投資と責任が伴うため、判断には時間の経過に伴う南越駅周辺まちづくりの進展が必要であることから、引き続き、情報提供を進めていく。
- ③ 駅周辺全体を一時期に開発できるほどの需要は見込みにくく、一定の期間が必要であると想定される。したがって、長期的、漸進的な開発が進められ、かつ、現在の風景や土地利用を活かせる「まちの開発ルール」づくりが必要だと考えられる。

<以上>